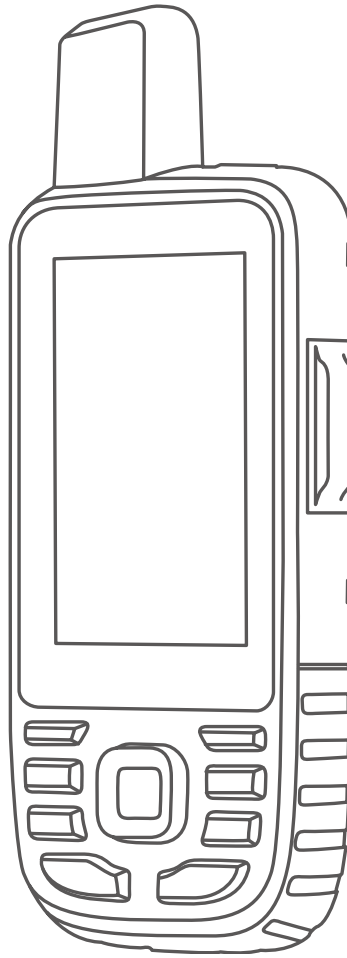


GARMIN®



GPSMAP 66i

操作マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製することはできません。

本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ, ANT+, Auto Lap, AutoLocate, City Navigator, GPSPMAP, inReach, TracBack, VIRB は、米国またはその他の国における Garmin 社の登録商標です。

chirp, Connect IQ, Garmin Connect, Garmin Explore, Garmin Express, tempe, Xero は Garmin 社の商標です。Garmin 社の許可を得ずに使用することはできません。

Android™ は Google Inc. の登録商標です。Apple®, Mac® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin 社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。microSD® および microSDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。NMEA® は、National Marine Electronics Association の登録商標です。Wi-Fi® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A03556

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
ステータス LED	1
ステータスアイコン	1
ボタン操作	1
デバイスの電源を入れる	1
ステータスページ	2
ボタン操作をロックする	2
バックライトを点灯する	2
バックライトの輝度を調整する	2
デバイスを充電する	2
製品のアップデート	2
Garmin Express を使用して最新ソフトウェアを確認、更新する	2
デバイスを有効化する	2
イリジウム衛星ネットワーク	2
inReach 機能	3
デバイスをテストする	3
プラン使用状況と詳細	3
メッセージ	3
プリセットメッセージを送信する	3
テキストメッセージを送信する	3
文字入力時の便利なボタン操作	3
メッセージに返信する	3
新着メッセージを確認する	3
メッセージの詳細を確認する	3
メッセージが送信された場所へのナビゲーションを開始する	3
位置座標が含まれたメッセージを送信する	4
メッセージを削除する	4
メッセージ設定	4
連絡先設定	4
LiveTrack	4
LiveTrack を開始する	4
LiveTrack を終了する	4
MapShare ウェブページを共有する	4
LiveTrack 設定	4
SOS	4
SOS 救助要請を送信する	4
カスタム SOS メッセージを送信する	4
SOS 救助要請を取り消す	5
メインページ	5
メインメニュー	5
地図	5
表示する地図を切り替える	6
地図の縮尺を変更する	6
地図の表示方法を変更する	6
地図上の地点へのナビゲーションを開始する	6
地図上の地点をポイントとして保存する	6
距離を計測する	6
地図ページにダッシュボードを表示する	6
ダッシュボードのデータ項目を変更する	6
地図ページのメニュー	6
地図設定	7

詳細設定	7
コンパス	7
ダッシュボードを変更する	8
ダッシュボードのデータ項目を変更する	8
コースポインター	8
コンパス表示を変更する	8
コンパスページのメニュー	8
コンパスを校正する	8
方位基準設定	9
トリップコンピュータ	9
ダッシュボードを変更する	9
データ項目を変更する	9
トリップコンピュータページのメニュー	10
高度	10
データ項目を変更する	10
グラフ上の地点を選択して詳細を確認する	10
高度ページのメニュー	10
高度設定	10
気圧高度計を校正する	11
ワイヤレス接続機能	11
ワイヤレス接続機能のネットワーク接続要件	11
スマートフォンとペアリングする	11
Garmin Explore アプリにデバイスをペアリングする	12
通知機能	12
通知を確認する	12
通知を非表示にする	12
通知の管理	12
Wi-Fi に接続する	12
Connect IQ 機能	12
Connect IQ 機能をダウンロードする	12
PC で Connect IQ 機能をダウンロードする	12
Connect IQ ウィジェットを確認する	12
Garmin Explore	12
Garmin Explore とデバイスのデータを同期する	12
ナビゲーション	13
目的地検索	13
ナビゲーションを中止する	13
ポイント	13
ポイントを登録する	13
ポイントへのナビゲーションを開始する	13
ルート	13
ルートナビゲーションを開始する	13
ラウンドトリップ	13
トラックバック	13
シミュレーション	13
衛星受信モードをデモモードに設定する	13
現在地を変更する	13
シミュレーションを開始する	14
メインメニュー	14
アクティビティ記録	14
現在のアクティビティを停止する	14
メインページから現在のアクティビティを停止する	14
アクティビティ記録のメニュー	15
記録設定 (軌跡設定)	15
詳細設定	15
天気	16

天気メニュー	16	指定した位置の狩猟と釣り情報を確認する	23
ポイントマネージャー	16	太陽と月	23
ポイントを編集する	16	太陽と月情報を確認する	23
ポイントを削除する	17	天空図で太陽と月の位置を確認する	23
ポイント投影	17	指定した位置の太陽と月情報を確認する	23
ポイント移動	17	フォトビューアー	24
ポイントをルートに追加する	17	画像を確認する	24
ポイントを現在地に変更する	17	フォトビューアーのメニュー	24
写真を割り当てる	17	平均位置測定	24
ポイントマネージャーのメニュー	17	平均位置を測定して新規ポイントを登録する	24
BirdsEye ダイレクト	17	保存済みのポイントの平均位置を測定する	24
BirdsEye イメージをダウンロードする	18	平均位置測定のメニュー	24
ジオキャッシュ	18	計算機	25
デバイスを Geocaching.com に登録する	18	計算機のメニュー	25
Geocaching.com に接続する	18	アラーム	25
PC でジオキャッシュをダウンロードする	18	アラームを設定する	25
ジオキャッシュを検索する	18	アラームを止める / スヌーズ機能を利用する	25
ライブジオキャッシュをダウンロードする	18	タイマーを利用する	25
ジオキャッシュの詳細を確認する	18	アラームのメニュー	25
ジオキャッシュへのナビゲーションを開始する	18	VIRB リモート	25
ジオキャッシュのヒントを確認する	18	VIRB リモートのメニュー	26
ログを記録する	19	ストップウォッチ	26
chirp	19	ストップウォッチ機能を使用する	26
chirp 検索を有効にする	19	ストップウォッチのメニュー	26
chirp を利用してジオキャッシュを探索する	19	フラッシュライト	26
デバイスからライブジオキャッシュデータを削除する	19	XERO 位置	26
Geocaching.com からデバイスの登録を解除する	19	衛星情報	27
ジオキャッシュ設定	19	衛星情報のメニュー	27
アドベンチャー	19	設定	27
アドベンチャーを開始する	19	システム設定	27
救助ナビ	19	衛星設定	27
救助ナビを開始する	19	インターフェース設定	27
アクティビティ履歴	19	ディスプレイ設定	28
アクティビティ詳細のメニュー	20	デザイン設定	28
実行ルート	20	Bluetooth 設定	28
ルート作成	20	Wi-Fi 設定	28
ルートを作成する	20	ルート探索設定	28
ルートのメニュー	20	ポイント設定	29
軌跡管理	20	トーン設定	29
軌跡管理のメニュー	21	センサー設定	29
サイトナビ	21	ワイヤレスセンサーをペアリングする	29
サイトナビでナビゲーションを開始する	21	フィットネス設定	29
近接アラート	21	マリン設定	30
近接ポイントを新規作成する	21	表示設定	30
近接ポイントを編集する	21	マリンアラーム設定	30
近接アラートのメニュー	21	メニュー設定	30
ワイヤレス通信	21	位置フォーマット設定	30
データを送受信する	22	単位設定	31
プロフィール変更	22	時刻設定	31
プロフィールを変更する	22	プロフィール設定	31
プロフィールを新規作成する	22	リセット	31
プロフィールのメニュー	22	デバイス情報	32
面積計算	22	仕様	32
面積計算のメニュー	22	バッテリーに関する情報	32
カレンダー	22	バッテリー稼働時間	32
カレンダーのメニュー	22	バッテリー稼働時間を長くするには	32
狩猟と釣り	23	バッテリーセーブモードをオンにする	32
狩猟と釣り情報を確認する	23		
今日の日付の情報を確認する	23		

エクスペディションモードをオンにする	32
デバイスを長期間保管する場合には	32
カラビナクリップを取り付ける	32
カラビナクリップを取り外す	32
ストラップを取り付ける	32
お取り扱い上の注意事項	33
クリーニング方法	33
データ管理	33
ファイルタイプ	33
メモリーカードを挿入する	33
デバイスを PC に接続する	33
デバイスにファイルを転送する	33
ファイルを削除する	33
USB ケーブルを取り外す	33
電子ラベルの規制および準拠情報を表示する	34
付録	34
デバイスに関するその他の情報	34
別売アクセサリ	34
tempe (ワイヤレス温度センサー)	34
ANT+ センサーをペアリングする際のヒント	34
トラブルシューティング	34
デバイスを再起動する	34
心拍ゾーン	34
トレーニングの目標と心拍ゾーン	34
心拍ゾーン参考表	35
データ項目	35

はじめに

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、安全および製品に関する警告と注意事項を必ずお読みください。

デバイスの概要



①	イリジウム /GNSS アンテナ
②	ステータス LED ランプ
③	電源ボタン ①
④	SOS ボタン
⑤	ボタン
⑥	micro-USB ポート (防水カバー付き)
⑦	フラッシュライト
⑧	microSD カードスロット (防水カバー付き)
⑨	マウントアングル

ステータス LED

LED 動作	ステータス
緑色点滅	未読メッセージあり
緑色点灯	デバイスがエクスペディションモード中
赤色点滅	デバイスが上空の開けた場所がない バッテリー残量が 10% 未満
赤色と緑色が交互に点滅	デバイスが SOS モード中

ステータスアイコン

	ANT+ 接続ステータス
	衛星受信強度
	バッテリー充電中
	バッテリー充電完了
	Bluetooth® 接続ステータス
	Wi-Fi 接続ステータス
	inReach メッセージ送信中
	未読メッセージあり

ボタン操作



検索	目的地検索画面を表示します。
登録	現在地をポイント登録します。
戻る	前のページまたはメニューに戻ります。実行中の操作や文字入力をキャンセルします。ショートカットに登録されているページを切り替えます。
実行	選択を確定します。地図、コンパス、高度、トリップコンピュータページから、アクティビティの記録操作のオプションを表示します。
メニュー	各ページのオプションメニューを表示します。2回続けて押すとメインメニューを表示します。
ページ	ショートカットに登録されているページを切り替えます。
ロッカーキー ▲▼◀▶	上下左右に押すことができ、項目の選択やデータ入力を行う場合に使用します。地図ページでは地図のスクロールに使用します。
イン	地図ページでは、縮尺を変更して地図を拡大表示します。地図ページ以外では、上方向へ画面やリストをスクロールします。
アウト	地図ページでは、縮尺を変更して地図を縮小表示します。地図ページ以外では、下方向へ画面やリストをスクロールします。

デバイスの電源を入れる

- ① ボタンを長押しします。
- 起動画面が表示され、デバイスの電源が入ります。
ヒント 初めて電源を入れた際は、デバイスの表示言語を [日本語] または [English] から選択します。
- デバイスを有効化していない場合は、次のオプションが表示されます。
 - [有効化] デバイスの inReach 機能を有効化します。
 - [スキップ] デバイスの有効化をスキップしてメインページを表示します。

ステータスページ

① ボタンを押すと、ステータスページが表示されます。ステータスページでは、バックライトの輝度の調整やキーロック、各機能のステータスの確認などを行うことができます。

ヒント ディスプレイ設定のスクリーンショット機能が有効の場合、ステータスページは表示されません。

参照 28 ページ ディスプレイ設定



ボタン操作をロックする

- ① ボタンを押して、ステータスページを表示します。
- [キーロック] を選択します。
ボタン操作が無効になります。
- ロックを解除するには、① ボタンを押します。

バックライトを点灯する

バックライトは、いずれかのボタンを押すと点灯します。アラート鳴動時やメッセージ表示時には自動でバックライトが点灯します。

バックライトの輝度を調整する

- ① ボタンを押して、ステータスページを表示します。
- インボタンまたはアウトボタンを押して輝度を調整します。

ヒント NV (ナイトビジョン) を選択すると、バックライトの輝度が低くなり、暗視ゴーグルを着用していても画面の表示が見やすくなります。

デバイスを充電する

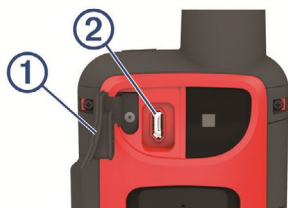
注意

サビや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に差込口や防水カバー、ケーブルの端子に付着した水分はよく拭き取ってください。

注意 充電温度範囲外では充電できません。

参照 32 ページ 仕様

- 防水カバー ① を持ち上げます。



- USB ケーブルの micro-USB 端子をデバイスの micro-USB ポート ② に接続します。
- USB ケーブルの USB 端子を、PC の USB ポートまたは家庭用コンセントに接続した AC アダプター (別売) の USB ポートに差し込みます。
- 充電します。

製品のアップデート

Garmin Express を使用して最新ソフトウェアを確認、更新する

Garmin Express を PC にダウンロードして、最新ソフトウェアの確認、更新を行います。

- 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続します。
- Garmin.com/ja-JP/software/express/ にアクセスします。
- 画面に表示される指示にしたがって、ソフトウェアを PC にダウンロードの上、実行してください。

デバイスを有効化する

デバイスで inReach の機能を使用するには有料のプランをご契約いただき、デバイスを有効化する必要があります。

- デバイスの電源を入れます。
- 「ようこそ」の画面が表示されたら、[有効化] を選択します。
または、メインメニューから [有効化完了] > [有効化] の順に選択します。
- Garmin Explore ウェブサイト (explore.garmin.com) にアクセスします。
アカウントを作成してサインインします。
- デバイスの画面に表示される指示に従い操作します。
注意 有効化を完了するには、デバイスに表示される IMEI 番号と認証コードが必要です。
- 上空の開けた場所へ移動します。
- イリジウム衛星受信完了までその場で静止します。
注意 複数のメッセージの送受信をするため、デバイスの有効化には約 20 分かかります。

イリジウム衛星ネットワーク

イリジウム衛星ネットワークを使用して、メッセージや位置情報データを送信するには、デバイスが上空の開けた場所にある必要があります。上空が開けていない場所にあるときは、衛星の電波を受信できるまでデバイスはメッセージを送り続けます。

ヒント 衛星の電波を受信しやすいように、バックパックや上半身にデバイスを装着してください。

inReach 機能

デバイスを最大限に活用するには、有効化する必要があります。デバイスを有効化すると、メッセージ、SOS、LiveTrack を含む inReach 機能を利用できます。



デバイスをテストする

実際に使用する前に屋外でデバイスのテストをして、衛星利用のプランが有効であることを確認します。

- 1 メインメニューを表示します
- 2 [inReach ユーティリティ] を選択します。
- 3 [通信テスト] のタブを表示します。
ロッカーキーの左右で表示するタブを切り替えます。
- 4 [テスト] を選択して実行ボタンを押します。
テストメッセージが送信されるまで待ちます。確認メッセージを受信したら、準備完了です。

プラン使用状況と詳細

inReach 機能の契約プランの使用状況と詳細を確認します。

- 1 メインメニューから [inReach ユーティリティ] を選択します。
- 2 プランの使用状況を確認するには、 タブを選択します。
- 3 プランの詳細を確認するには、 タブを選択します。
- 4 最新の情報を確認するには、[更新] を選択します。

メッセージ

デバイスは、イリジウム衛星ネットワークを使用してテキストメッセージを送受信します。ショートメッセージサービス (SMS) が利用可能な電話番号、メールアドレス、他の inReach ヘッダーメッセージを送信できます。送信するメッセージには、現在地の情報が含まれています。

ヒント プリセットメッセージ機能を使用して、よく使うメッセージをすばやく送信することができます。

プリセットメッセージを送信する

プリセットメッセージは、Garmin Explore ウェブサイト (explore.garmin.com) でメッセージの内容と宛先を設定します。

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 [プリセット送信] を選択します。
- 3 プリセットメッセージ一覧から送信するメッセージを選択します。
- 4 メッセージのプレビューが表示されます。[プリセット送信] を選択して、メッセージを送信します。

テキストメッセージを送信する

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 [新規メッセージ] を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [メッセージ入力]
メッセージを入力します。
 - [クイックテキスト選択]
あらかじめ設定されたメッセージを選択します。

ヒント Garmin Explore ウェブサイトでクイックテキストメッセージの編集または追加ができます。

- [現在地送信]
位置座標を含むメッセージを送信します。

参照 4ページ [位置座標が含まれたメッセージを送信する](#)

- 4 連絡先のリストから宛先を選択するか、宛先を入力します。
- 5 送信するメッセージを作成後、[メッセージ送信] を選択します。

文字入力時の便利なボタン操作

- 検索ボタン オートコンプリートの最初の候補を選択します。
- 登録ボタン キーボードを切り替えます。
- インボタン バックスペースで文字を削除します。
- アウトボタン スペースを挿入します。

メッセージに返信する

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 メッセージのスレッドを選択します。
- 3 [返信] を選択します。
 - [メッセージ入力]
メッセージを入力します。
 - [クイックテキスト選択]
あらかじめ設定されたメッセージを選択します。

ヒント Garmin Explore ウェブサイトでクイックテキストメッセージの編集または追加ができます。

- [現在地送信]
位置座標を含むメッセージを送信します。

参照 4ページ [位置座標が含まれたメッセージを送信する](#)

新着メッセージを確認する


メッセージ送信後 10 分間は、新着メッセージが確認されます。また、1 時間ごとに新着メッセージが確認されます。LiveTrack を使用しているときは、設定した記録間隔で自動的に新着メッセージが確認されます。

注意 メッセージを受信するには、デバイスが上空の開けた場所にある必要があります。

次の手順で、新着メッセージの問い合わせを手動で行うことができます。



- 1 メインメニューから [inReach ユーティリティ] を選択します。
- 2 [メール確認] > [メールボックス確認] の順に選択します。

メッセージの詳細を確認する

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 メッセージのスレッドを選択します。
- 3 詳細を確認するメッセージを選択します。
- 4  タブを選択します。
メッセージの詳細が表示されます。

メッセージが送信された場所へのナビゲーションを開始する

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 メッセージのスレッドを選択します。

- 3  (位置情報を持つ) メッセージを選択します。
- 4  タブを選択します。
- 5 [出発] を選択します。

位置座標が含まれたメッセージを送信する

位置座標が含まれたメッセージを送信できます。メッセージの受信者がインターネットに接続できない場合などに便利です。

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 [新規メッセージ] を選択します。
- 3 [現在地送信] を選択します。
- 4 連絡先のリストから宛先を選択するか、宛先を入力します。
- 5 [メッセージ送信] を選択します。

メッセージを削除する

- 1 メインメニューから [メッセージ] を選択します。
- 2 メッセージのスレッドを選択します。
- 3 メニューボタンを押します。
- 4 [スレッド消去] を選択します。

メッセージ設定

- 1 メインメニューから [設定] > [メッセージ] の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [確認するまで鳴動] オン/オフ
新規メッセージが既読になるまでデバイスの呼び出し音を鳴らします。この機能は、騒がしい場所にいる場合に役立ちます。
 - [通知] オン/オフ
メッセージを受信したときに、ポップアップの通知が表示されます。

連絡先設定

- 1 メインメニューから [設定] > [連絡先] の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [新しい連絡先]
新規連絡先を作成して保存します。
 - [(保存済み連絡先名)]
保存済みの連絡先を編集します。

LiveTrack

LiveTrack 機能を使用することで、軌跡ポイントを記録し、イリジウム衛星経由で一定時間ごとに送信します。

LiveTrack を開始する

- 1 メインメニューから [LiveTrack] を選択します。
- 2 [LiveTrack 開始] を選択します。
注意 LiveTrack を開始すると、同時にアクティビティ記録も開始されます。

LiveTrack を終了する

- 1 メインメニューから [LiveTrack] を選択します。
- 2 [LiveTrack 停止] を選択します。

MapShare ウェブページを共有する

あなたの Mapshare ウェブページのリンクをメッセージで共有することができます。

- 1 メインメニューから [LiveTrack] を選択します。
- 2 [MapShare 送信] > [共有] を選択します。
- 3 連絡先リストからメッセージの宛先を選択するか、宛先を手動で入力して、[完了] を選択します。
- 4 必要に応じてメッセージを編集します。
- 5 [メッセージ送信] を選択します。

LiveTrack 設定



- 1 メインメニューから [設定] > [LiveTrack] の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [自動記録] : オン/オフ
デバイスと起動と同時に LiveTrack を自動で開始します。
 - [移動記録間隔] : 10分/20分/30分/1時間/2時間/4時間
移動中の LiveTrack の軌跡ポイントを記録してイリジウム衛星ネットワークへ送信する間隔を選択します。

SOS

緊急の時にのみ使用します。SOS を発信すると米国にある民間救助組織 GEOS の国際緊急救助調整センター (IERCC) に連絡が届きます。

SOS 救助要請を送信する

注意 SOS モード中は、デバイスの電源はオフにできません。

- 1 SOS ボタン  のプロテクトカバー  を外します。



- 2 SOS ボタンを長押しします。
- 3 SOS のカウントダウンが開始されます。
ご自身の現在地と救助要請のメッセージを救助調整センターへ送信します。
- 4 救助要請センターからの確認メッセージに返信します。
メッセージを返信することで、ご自身がメッセージのやりとりができる状態であることが救助調整センターに伝わります。
最初の 10 分間は、現在地を救助調整センターへ 1 分毎に送信します。バッテリーの消費を抑えるため、それ以降は、位置が移動した場合は 10 分毎、位置が移動していない場合は 30 分毎に現在地が送信されます。

カスタム SOS メッセージを送信する

SOS モード中は、SOS ページからカスタムメッセージを送信す

ることができます。

- 1 メインメニューから **[SOS]** を選択します。
- 2 **[返信]** を選択します。
- 3 **[メッセージ入力]** を選択して、任意のメッセージを入力します。
- 4 メッセージを送信するには **[メッセージ送信]** を選択します。メッセージを返信することで、ご自身がメッセージのやりとりができる状態であることが救助調整センターに伝わります。

SOS 救助要請を取り消す

救助調整センターへ救助要請を送信した後で、救助が必要でなくなった場合、SOS 救助要請を取り消すことができます。

- 1 プロテクトカバーを外し、**SOS ボタン**を長押しします。
- 2 **[SOS 取り消し]** を選択します。
- 3 「SOS を取り消しますか?」とメッセージが表示されたら、**[SOS 取り消し]** を選択します。取り消し依頼が送信されます。救助調整センターからの確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の状態に戻ります。

メインページ

メインページを切り替えるには、**ページボタン**または**戻るボタン**を押します。

メインメニュー

メインメニューからデバイスの各種機能や設定にアクセスします。**メニューボタン**を2回続けて押すと、メインメニューをすばやく表示することができます。

メインメニューの各種機能について詳しくは [14 ページ](#)からご参照ください。



地図

地図ページには、現在地を示すアイコン▲と軌跡、ポイント名とポイントのシンボルが表示されます。目的地へのナビゲーションを開始すると、地図上にルートが表示されます。

[現在地画面]



[スクロール画面]



- ① **地図方位マーク**
地図上の北の方位を示します。
- ② **地図の縮尺**
地図の縮尺が表示されます。インボタン / アウトボタンで地図を拡大 / 縮小します。
- ③ **現在地アイコン**
現在地と進行方向を示します。
- ④ **軌跡**
現在記録中のアクティビティの軌跡が表示されます。
- ⑤ **詳細ウィンドウ**
マップポインターが指す地点の名称または緯度経度と、現在地からの距離と方角が表示されます。
- ⑥ **ポイント**

登録済みのポイント名とシンボルが表示されます。

⑦ マップポインター

ロッカーキーで操作し、地図をスクロールします。

表示する地図を切り替える

- 1 地図ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**地図設定**] > [**地図情報**] の順に選択します。
- 3 デバイスで認識している地図データ名が表示されます。
- 4 各地図データ名の横のスイッチで、地図の表示 / 非表示を設定します。**実行ボタン**でスイッチのオン (地図を表示する) / オフ (表示しない) を切り替えます。

ヒント 複数の詳細地図データを認識している場合は、地図ページに表示する詳細地図データのみオンに設定し、その他はオフに設定します。ベースマップはオフにする必要はありません。

地図の縮尺を変更する

- 1 地図ページで**インボタン** / **アウトボタン**を押します。
表示可能な縮尺は以下の通りです。
800km/500km/300km/200km/120km/80km/50km/30km/20km/12km/8km/5km/3km/2km/1.2km/800m/500m/300m/200m/120m/80m/50m/30m/20m/12m/8m/5m

地図の表示方法を変更する

- 1 地図ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**地図設定**] > [**地図表示**] の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [**ノースアップ**]
地図画面上方が常に北になるよう表示されます。
 - [**トラックアップ**]
進行方向が常に地図画面上方になるよう表示されます。
 - [**自動車モード**]
進行方向が常に地図画面上方になり、車両を中心として少し上空から見たような図で表示されます。

地図上の地点へのナビゲーションを開始する

- 1 マップポインターを操作して、任意の地点に移動します。
- 2 **実行ボタン**を押します。
ヒント 選択した地点に複数の候補がある場合、表示されるリストから目的の地点を選択します。
- 3 選択した地点の詳細ページが表示されます。
- 4 [**出発**] を選択します。

地図上の地点をポイントとして保存する

- 1 マップポインターを操作して、任意の地点に移動します。
- 2 **実行ボタン**を押します。
ヒント 選択した地点に複数の候補がある場合、表示されるリストから目的の地点を選択します。
- 3 選択した地点の詳細ページが表示されます。
- 4 **メニューボタン**を押して、メニューを表示します。
- 5 [**ポイントとして保存**] > [**OK**] の順に選択します。

距離を計測する

任意の地点間の距離を計測します。

- 1 計測開始地点にマップポインターを合わせます。(現在地を開始地点とする場合、この手順は必要ありません。次の手順に進みます。)
- 2 **メニューボタン**を押してメニューを表示します。
- 3 [**距離計測**] を選択します。
- 4 マップポインターを操作して、任意の地点に移動します。開始地点からの直線距離が表示されます。
実行ボタンを押して、次の地点を選択することもできます。
複数の地点を選択した場合は、隣接する地点間の距離と合計距離が表示されます。
- 5 距離計測を終了するには、**メニューボタン**を押してメニューを表示し、[**計測終了**] を選択します。

地図ページにダッシュボードを表示する

ダッシュボードは初期設定で非表示に設定されています。

- 1 地図ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**地図設定**] > [**ダッシュボード**] の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [**なし**] : ダッシュボードを非表示にします。
 - [**高度**] : ダッシュボードに高度グラフを表示します。
 - [**コンパス**] : ダッシュボードにコンパスを表示します。
 - [**ジオキャッシュ**] : ダッシュボードに最寄りのジオキャッシュの情報を表示します。
 - [**データ項目大**] : ダッシュボードにデータ項目を1項目表示します。
 - [**衛星情報**] : ダッシュボードに衛星情報を表示します。
 - [**ステータス**] : ダッシュボードに日付と時刻を表示します。
 - [**ストップウォッチ**] : ダッシュボードにストップウォッチを表示します。
 - [**データ項目小**] : ダッシュボードにデータ項目を4項目表示します。
 - [**自動車**] : 自動車でのナビゲーション向けのダッシュボードを表示します。
 - [**カスタム**] : ナビゲーション実行中とナビゲーション実行中以外に表示するダッシュボードを選択します。

ダッシュボードのデータ項目を変更する

ダッシュボードのデータ項目を変更します。(ダッシュボード [**データ項目大**]/[**データ項目小**]/[**自動車**] 選択時)

- 1 地図ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**データ項目変更**] を選択します。
- 3 **ロッカーキー**で変更するデータ項目を選択し、**実行ボタン**で決定します。
- 4 カテゴリー別のデータ項目一覧から、表示するデータ項目を選択します。
参照 [35 ページ](#) **データ項目**
- 5 データ項目の変更を終了するには、**戻るボタン**を押します。

地図ページのメニュー

地図ページを表示して、**メニューボタン**を押します。
表示されるオプションは、実行中の機能や設定により異なります。

[ナビゲーション中止 / 再開]

実行中のナビゲーションを中止します。または直前に中止したナビゲーションを再開します。

[地図設定]

地図に関する設定を行います。

参照 7ページ 地図設定

[距離計測]

任意の地点間の距離を計測します。

参照 6ページ 距離を計測する

[設定リセット]

地図ページの設定を初期状態にリセットします。

[データ項目変更]

ダッシュボードに表示するデータ項目を変更します。(ダッシュボード [データ項目大] / [データ項目小] / [自動車] 選択時)

参照 6ページ ダッシュボードのデータ項目を変更する

[高度]

高度ページを表示します。(ダッシュボード [高度] 選択時)

[ジオキャッシュ]

ジオキャッシュページを表示します。(ダッシュボード [ジオキャッシュ] 選択時)

[ストップウォッチ操作]

ストップウォッチを操作します。(ダッシュボード [ストップウォッチ] 選択時) ストップウォッチを操作後は、戻るボタンで地図ページの操作に戻ります。

[次の転換点表示]

次の転換点の情報を表示します。(ダッシュボード [自動車] 選択時にナビゲーション実行中)

[実行ルート]

実行ルートページを表示します。(ダッシュボード [自動車] 選択時にナビゲーション実行中)

地図設定

地図に関する設定を行います。

[地図情報]

地図ページに表示する地図データのオン / オフを設定します。

参照 6ページ 表示する地図を切り替える

[地図表示]

地図の表示方法を設定します。

参照 6ページ 地図の表示方法を変更する

[ダッシュボード]

ダッシュボードを変更します。

参照 6ページ 地図ページにダッシュボードを表示する

[案内テキスト]

ナビゲーションの次の地点などを文字で案内するウィンドウの表示を設定します。

- [表示しない] 案内テキストのウィンドウを表示しません。
- [ナビ中のみ表示] ナビゲーション実行中のみ案内テキストのウィンドウを表示します。
- [常に表示] 案内テキストのウィンドウを常に表示します。

[詳細設定]

地図ページに関する詳細設定を行います。

詳細設定

[自動ズーム]: オン / オフ

ナビゲーション実行中に転換点などで地図を最適な縮尺に自動でズームします。

[詳細度]: 最高 / 高 / 標準 / 低 / 最低

地図上に表示される情報量を選択します。(詳細度を高く設定した場合、地図の描画に時間がかかる場合があります。)

[地形陰影]: 可能な場合表示 / 表示しない / 自動

地図の陰影表示を選択します。

[アイコン]

地図上の現在地を示すアイコンを選択します。(初期設定は [現在地アイコン小] に設定されています。)

[ズームレベル] オフ / 自動 / 5km ~ 800km

地図上に表示される位置情報や道路等の情報を設定した縮尺以下から表示します。

このオプションは、以下の項目別に設定することができます。

- [位置情報] 地図データに収録されている位置情報
- [ポイント] 保存済みポイント
- [ジオキャッシュ] ジオキャッシュ情報
- [道路名称] 国道や県道の道路名称
- [ランドカバー] 地図データに収録されているアイコンの位置情報
- [メッセージ] inReach メッセージの位置情報

[文字サイズ] なし / 小 / 中 / 大

地図上に表示される位置情報や道路等の名称の文字の大きさを選択します。

このオプションは、以下の項目別に設定することができます。

- [位置情報] 地図データに収録されている位置情報
- [ポイント] 保存済みポイント
- [道路名称] 国道や県道の道路名称
- [ランドカバー] 地図データに収録されているアイコンの位置情報
- [コースタイム] 右方向・左方向へのコースの参考所要時間 (コースタイム表示に対応する地図データが必要です。)

コンパス

ナビゲーション中にコンパスページを表示すると、進行方向にかかわらず ▲ は目的地の方向を指し示します。▲ がコンパスの上方向を指し示している場合、目的地方向にまっすぐ向かっています。



① ダッシュボード

ダッシュボードには初期設定で [データ項目小] が表示されています。

② コンパスリング

方位を示します。

③ 方位ポインター

ナビゲーション中のみ目的地や経由地、転換地点への方向を矢印で表示します。

コンパス表示がコースポインターの場合のコンパスの見方は、[8 ページ](#)をご参照ください。

ダッシュボードを変更する

コンパスページのダッシュボードを変更します。

- 1 コンパスページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**ダッシュボード変更**]を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [**高度**]：ダッシュボードに高度グラフを表示します。
 - [**ジオキャッシュ**]：ダッシュボードに最寄りのジオキャッシュの情報を表示します。
 - [**データ項目 大**]：ダッシュボードにデータ項目を1項目表示します。
 - [**衛星情報**]：ダッシュボードに衛星情報を表示します。
 - [**データ項目 小**]：ダッシュボードにデータ項目を4項目表示します。
 - [**ステータス**]：ダッシュボードに日付と時刻を表示します。
 - [**ストップウォッチ**]：ダッシュボードにストップウォッチを表示します。

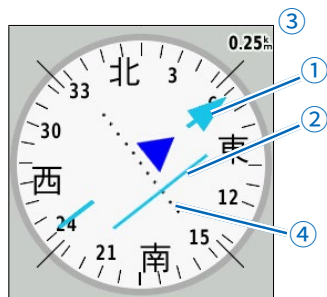
ダッシュボードのデータ項目を変更する

ダッシュボードのデータ項目を変更します。(ダッシュボード [データ項目 大]/[データ項目 小] 選択時)

- 1 コンパスページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**データ項目変更**]を選択します。
- 3 **ロッカーキー**で変更するデータ項目を選択し、**実行ボタン**で決定します。
- 4 カテゴリー別のデータ項目一覧から、表示するデータ項目を選択します。
[参照 35 ページ データ項目](#)
- 5 データ項目の変更を終了するには、**戻るボタン**を押します。

コースポインター

コースポインターは、水上を移動しているときや、大きな障害物のない経路を直線的に進むときに便利です。また、浅瀬や水中の岩などのコースの近くの危険箇所を回避したいときにも役立ちます。



① コースライン

出発点と目的地を結んだ直線が表示されます。

② オフコースライン

コースラインからの逸脱方向 (左右) を示します。

③ 縮尺

ドット間の縮尺を示します。

③ ドット

オフコースラインの逸脱距離の目安を示します。

コンパス表示を変更する

コンパスの表示方法を変更します。

- 1 コンパスページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**方位基準設定**]を選択します。
- 3 [**コンパス表示**]を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - [**方位 (大)**]/[方位 (中)]/[方位 (小)]：進行方位を矢印で示します。
 - [**コース**]：コースポインターを表示します。

[参照 8 ページ コースポインター](#)

コンパスページのメニュー

コンパスページを表示して、**メニューボタン**を押します。

表示されるオプションは、実行中の機能や設定により異なります。

[サイトナビ]

サイトナビを開始します。

[参照 21 ページ サイトナビ](#)

[ナビゲーション中止 / 再開]

実行中のナビゲーションを中止します。または直前に中止したナビゲーションを再開します。

[ダッシュボード変更]

ダッシュボードを変更します。

[参照 8 ページ ダッシュボードを変更する](#)

[縮尺]

コースポインターの逸脱距離を示すドット間の縮尺を変更します。

[コンパス校正]

コンパスを校正します。

[参照 8 ページ コンパスを校正する](#)

[方位基準設定]

コンパスの方位基準を設定します。

[参照 9 ページ 方位基準設定](#)

[データ項目変更]

ダッシュボードのデータ項目を変更します。

[参照 8 ページ ダッシュボードのデータ項目を変更する](#)

[設定リセット]

コンパスページの設定を初期状態にリセットします。

コンパスを校正する

デバイスには3軸電子コンパスが内蔵されています。長距離を移動したときや、極端な温度変化があったときにはコンパスを校正してください。

コンパス校正は、周辺に磁気を帯びた機器のない場所で実施してください。パソコンの近くやマグネットが張り付く机などの上では、成功しない場合があります。自動車やビルの近く、頭上に電線のある場所を避け、屋外で実施してください。

- 1 コンパスページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**コンパス校正**] > [**開始**] の順に選択します。

- 3 画面に表示される指示に従い、デバイスを回転させます。
- 4 [次へ] を選択して次の指示に進みます。
- 5 校正が完了したら、[OK] を選択します。
校正が失敗した場合、[リトライ] を選択して再実行します。

方位基準設定

コンパスの方位基準を設定します。

[移動方向]

移動方向の表示方法を選択します。

- [文字方位] 東西南北で示します。
- [度] 0-359°で示します。
- [ミル] 軍用角度で示します。

[方位基準]

北の定義を選択します。

- [真北] 北極点の方向を示します。
- [磁北] 磁石が指し示す地磁気の北方向を示します。
- [グリッド] グリッド航法時に使用します。
- [ユーザー] 磁針偏差を入力して手動で設定します。

[コンパス表示]

コンパスの表示方法を選択します。

参照 8ページ [コンパス表示を変更する](#)

[電子コンパス]

- [オフ] 電子コンパスの方位を利用しません。
- [自動] 電子コンパスの方位と GPS 方位を自動で切り替えます。

[自動] を選択した場合、次のオプションを設定します。

• [電子コンパス復帰速度]

GPS 方位から電子コンパスの方位に切り替える速度を設定します。設定した速度以下での移動が復帰速度持続時間以上継続した場合に、GPS 方位から電子コンパスの方位に切り替わります。

• [復帰速度持続時間]

復帰速度持続時間を [5 秒] ~ [180 秒] から選択します。

[コンパス校正]

コンパスを校正します。

参照 8ページ [コンパスを校正する](#)

トリップコンピュータ

トリップコンピュータは、トリップ（移動積算距離）、最高速度、平均速度、現在の速度などの役立つデータを表示します。トリップコンピュータのレイアウト、ダッシュボード、データ項目はカスタマイズできます。



① ダッシュボード

ダッシュボードには初期設定で [データ項目 小] が表示されています。

② データ項目表示部

データ項目が表示されます。

ダッシュボードを変更する

トリップコンピュータページのダッシュボードを変更します。

- 1 トリップコンピュータページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [ダッシュボード変更] を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [高度] : ダッシュボードに高度グラフを表示します。
 - [コンパス] : ダッシュボードにコンパスを表示します。
 - [ジオキャッシュ] : ダッシュボードに最寄りのジオキャッシュの情報を表示します。
 - [データ項目 大] : ダッシュボードにデータ項目を 1 項目表示します。
 - [衛星情報] : ダッシュボードに衛星情報を表示します。
 - [データ項目 小] : ダッシュボードにデータ項目を 4 項目表示します。
 - [ステータス] : ダッシュボードに日付と時刻を表示します。
 - [ストップウォッチ] : ダッシュボードにストップウォッチを表示します。

データ項目を変更する

トリップコンピュータページのデータ項目を変更します。

- 1 トリップコンピュータページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [データ項目変更] を選択します。
- 3 **ロッカーキー**で変更するデータ項目を選択し、**実行ボタン**で決定します。
- 4 カテゴリー別のデータ項目一覧から、表示するデータ項目を選択します。

参照 35ページ [データ項目](#)

5 データ項目の変更を終了するには、**戻るボタン**を押します。

トリップコンピュータページのメニュー

トリップコンピュータページを表示して、**メニューボタン**を押します。

表示されるオプションは、実行中の機能や設定により異なります。

[リセット]

トリップデータを項目別にリセットします。

[データ項目変更]

データ項目を変更します。

参照 9ページ データ項目を変更する

[ダッシュボード変更]

ダッシュボードを変更します。

参照 9ページ ダッシュボードを変更する

注意 ダッシュボードの設定は、プロフィールを変更しても保持されます。

[ページ挿入]

トリップコンピュータページにページを追加します。ページは最大で 10 ページまで設定することができます。

ヒント 左右のロッカーキーでページをスクロールします。

[ページの削除]

表示中のページを削除します。

[データ項目表示追加]

データ項目表示部の項目表示数を追加します。(最大で 8 項目)

[データ項目表示減少]

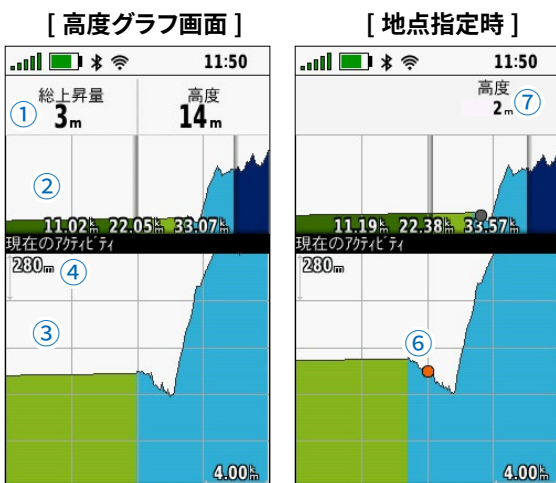
データ項目表示部の項目表示数を減少させます。(最少で 2 項目)

[設定リセット]

トリップコンピュータページの設定を初期状態にリセットします。

高度

高度または気圧のグラフが表示されます。初期設定では、現在のアクティビティの高度グラフが表示されます。グラフ上の地点を選択して、詳細を確認することができます。



① データ項目表示部

データ項目が表示されます。

② 全体グラフ

高度または気圧の全体のグラフが表示されます。

③ 詳細グラフ

全体グラフのハイライトされた範囲が拡大表示されます。**イン/アウトボタン**でグラフのズーム倍率を変更します。

④ Y 軸ズーム倍率

詳細グラフの Y 軸のスケールが表示されます。

⑤ X 軸ズーム倍率

詳細グラフの X 軸のスケールが表示されます。

⑥ 地点選択ポイント

グラフ上の任意の地点を指し示します。

⑦ 情報ウィンドウ

地点選択ポイントで指定した点の情報を表示します。

データ項目を変更する

高度ページのデータ項目を変更します。

1 高度ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。

2 [データ項目変更] を選択します。

3 **ロッカーキー**で変更するデータ項目を選択し、**実行ボタン**で決定します。

4 カテゴリー別のデータ項目一覧から、表示するデータ項目を選択します。

参照 35ページ データ項目

5 データ項目の変更を終了するには、**戻るボタン**を押します。

グラフ上の地点を選択して詳細を確認する

1 高度ページを表示した状態で、**ロッカーキー**を押します。

2 グラフ上に地点選択ポイント(赤またはグレーの点)が表示されます。

ロッカーキーの左右で地点選択ポイントを移動することができます。スクロールするグラフを切り替えるには、**ロッカーキー**の上下を押します。スクロールがアクティブなグラフは、地点選択ポイントが赤い点で表示されます。

3 情報ウィンドウに地点選択ポイントで選択した地点の日時と高度が表示されます。

高度ページのメニュー

高度ページを表示して、**メニューボタン**を押します。

表示されるオプションは、実行中の機能や設定により異なります。

[地図参照]

グラフ上で選択した地点を地図上で確認します。

[リセット]

トリップデータ、ポイント、軌跡などのデータをリセットします。

参照 31ページ リセット

[高度設定]

高度に関する設定を行います。

参照 10ページ 高度設定

[ズーム倍率変更]

詳細グラフのズーム倍率を変更します。**ロッカーキー**の上下で Y 軸、左右で X 軸のスケールを調整します。

[データ項目変更]

データ項目を変更します。

参照 10ページ データ項目を変更する

[設定リセット]

高度ページの設定を初期状態にリセットします。

高度設定

高度に関する設定を行います。

[自動校正]

デバイスの電源がオンのとき、GPS で求められた高度で自動校正します。

- [オフ] 自動校正をオフにします。
- [開始時] 軌跡記録開始時に校正します。
- [常時] 常時校正します。

[大気圧モード]

気圧計の測定モードを設定します。

- [可変] 気圧高度計で高度を測定します。(高低差のある移動時に推奨)
- [固定] 気圧高度計は天候による気圧の変化のみ測定します。(停止時に推奨)

[気圧推移記録]

気圧データの記録方法を設定します。

- [起動時に記録] デバイスの電源がオンのときのみ記録します。
- [常時記録] デバイスの電源がオフのときを含めて、常時記録します。

[プロットタイプ]

高度ページに表示するデータタイプを選択します。

- [高度 / 時間] 時間の推移による高度変化を表示します。
- [高度 / 距離] 距離の推移による高度変化を表示します。
- [校正気圧] 時間の推移による校正気圧の変化を表示します。
- [大気圧] 時間の推移による大気圧の変化を表示します。

[高度校正]

気圧高度計を校正します。

参照 11 ページ [気圧高度計を校正する](#)

気圧高度計を校正する

現在地の正確な高度または海面気圧がわかる場合、気圧高度計を手動で校正することができます。

- 1 高度ページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [高度設定] > [高度校正] の順に選択します。
- 3 [方法] を選択して、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [現在の高度] 現在地の正確な高度を入力して校正します。
 - [海面気圧] 現在地の正確な海面気圧を入力して校正します。
 - [GPS 高度] GPS 高度を利用して校正します。
- 4 数値入力欄を選択して、正確な高度または海面気圧を入力します。
- 5 [校正] を選択します。

ワイヤレス接続機能

Garmin Connect Mobile アプリを使用してデバイスとスマートフォンをペアリングすると Bluetooth 接続機能を利用できます。ペアリング済みのデバイスを Garmin Explore アプリと連携すると、さらに便利な機能を利用することができます。

アプリについて詳しくは、Garmin.co.jp/products/apps をご参照ください。

Connect IQ :

Garmin Connect Mobile アプリでデータ項目、ウィジェット、アプリケーションをダウンロードできます。

EPO ファイルのダウンロード :

Garmin Connect Mobile アプリとのデータ同期時に GPS の位置を素早く特定するための EPO (Extended Prediction Orbit) ファイルがデバイスにダウンロードされ、初期位置を算出するまでの時間を短縮できます。

Garmin Explore :

デバイスに保存済みのルートまたは軌跡、ポイントを Garmin Explore アプリに同期してデータを共有することができます。スマートフォンに地図をダウンロードして、オフラインでも地図を参照することができます。

ライブジオキャッシュデータ :

www.geocaching.com のジオキャッシュデータをワイヤレスでデバイスにダウンロードできます。

LiveTrack :

実行中のアクティビティデータをリアルタイムで家族や友人に共有します。inReach メッセージを送信するか、ソーシャルメディアまたはメールを利用して LiveTrack の閲覧者を招待できます。Garmin Explore アプリで LiveTrack を開始すると、MapShare のトラッキングページで LiveTrack データを閲覧することができます。

スマートフォン通知機能 :

スマートフォンなどのモバイル端末で受信したメッセージ、アプリなどの通知をデバイスに表示します。

ワイヤレス接続機能のネットワーク接続要件

機能	Garmin Connect Mobile アプリ接続	Wi-Fi 接続
EPO ダウンロード	○	○
ライブジオキャッシュ	○	○
天気	○	○
通知	○ ¹	×
Connect IQ	○	×
BirdsEye ダイレクト	×	○

¹ デバイスに表示する通知は、iOS® 端末の場合は端末の通知設定、Android™ 端末の場合は Garmin Connect Mobile アプリの通知設定で管理します。

スマートフォンとペアリングする

- 1 お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Connect Mobile (ガーミンコネクトモバイル) アプリをダウンロードします。インストール完了後、アプリを起動して、Garmin Connect アカウントでサインイン (またはアカウント作成) します。
- 2 デバイスとスマートフォンを 10m 以内に近づけます。
- 3 デバイスのメインメニューから、[設定] > [Bluetooth] の順に選択します。
- 4 画面の指示に従って、ペアリングを完了します。

Garmin Explore アプリにデバイスをペアリングする

Garmin Explore アプリとデバイスをペアリングするには、あらかじめ Garmin Connect Mobile アプリとデバイスをペアリングする必要があります。

参照 11 ページ スマートフォンとペアリングする

- 1 Garmin Explore アプリを起動して、Garmin Connect Mobile アプリと同じアカウントでサインインします。
- 2 アプリのメニューから [デバイス] > [デバイスとのペアリング] を選択し、デバイスのリストから Garmin Connect Mobile アプリと接続済みのデバイスを選択します。
- 3 [開始] を選択して、デバイスとのペアリングを開始します。
- 4 ペアリングが完了したら、[OK] を選択します。

通知機能

ペアリング済みのスマートフォンなどのモバイル端末で受信したメッセージ、アプリなどの通知をデバイスに表示します。

通知を確認する

デバイスで通知を確認するには、あらかじめデバイスとスマートフォンなどのモバイル端末をペアリングする必要があります。

- 1 メインメニューから、[通知] を選択します。
- 2 通知一覧から、確認する通知を選択します。
- 3 通知の詳細が表示されます。

通知を非表示にする

初期設定では、デバイスで通知を受信すると、画面の上部に通知のバナーが表示されます。次の手順でバナーの表示をオフに設定することができます。

- 1 メインメニューから、[設定] > [Bluetooth] の順に選択します。
- 2 [通知] を選択して**実行ボタン**を押すと、スイッチがオフになります。オフに設定すると、通知受信時のバナーが非表示になります。
実行ボタンでスイッチのオン（表示） / オフ（非表示）を切り替えます。

通知の管理

デバイスに表示する通知は、ペアリング済みスマートフォンで管理します。

- iPhone® デバイスをご使用の場合、iPhone デバイスの通知設定に準じます。
- Android™ デバイスをご使用の場合、Garmin Connect Mobile アプリの [設定] > [通知機能] での設定に準じます。

Wi-Fi に接続する

- 1 メインメニューから [設定] > [Wi-Fi] の順に選択します。
- 2 実行ボタンを押して、[Wi-Fi] のスイッチをオンにします。
- 3 [ネットワーク追加] を選択します。
- 4 ネットワーク一覧から接続先のネットワーク名を選択し、ネットワークのパスワードを入力して [OK] を選択します。

接続済みのネットワーク情報はデバイスに保存され、デバイスがネットワークの範囲にある場合は自動で接続されます。

Connect IQ 機能

Garmin またはその他の開発者から提供されたデータ項目や

ウィジェット、アプリケーションをデバイスに追加することができます。

Connect IQ 機能をダウンロードする

Connect IQ アプリから Connect IQ 機能をダウンロードする前に、デバイスとスマートフォンなどのモバイル端末をペアリングしてください。

参照 11 ページ スマートフォンとペアリングする

- 1 お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Connect IQ アプリをインストールして開きます。
- 2 必要に応じて、デバイスを選択します。
- 3 デバイ스에ダウンロードする Connect IQ 機能を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

PC で Connect IQ 機能をダウンロードする

- 1 USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
- 2 apps.garmin.com にアクセスします。
- 3 デバイ스에ダウンロードする Connect IQ 機能を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

Connect IQ ウィジェットを確認する

デバイスにダウンロード済みの Connect IQ ウィジェットを確認します。

- 1 **⓪ ボタン**を押して、ステータスページを表示します。
- 2 **ロッカーキー**の左右で、ウィジェットをスクロールします。

Garmin Explore

Garmin Explore のウェブサイトとモバイルアプリを使うと、旅行を計画したり、ポイント、ルート、軌跡を保存するためのクラウドストレージを利用できます。オンラインまたはオフラインでも詳細な計画を提案し、互換性のある Garmin デバイスとデータの同期や共有をすることができます。モバイルアプリでは地図をダウンロードして、ナビゲーションを利用できます。

アプリストアで Garmin Explore アプリをダウンロードできます。ウェブサイトは、explore.garmin.com をご参照ください。

Garmin Explore とデバイスのデータを同期する

Garmin Explore アプリを使用して、Garmin Explore アカウントからデバイスにデータを同期します。Garmin Explore Web サイトで、連絡先、プリセットメッセージ、クイックテキストメッセージなどを編集したら、Garmin Explore アプリを使用してデバイスにデータを同期します。

- 1 Garmin Explore アプリを開きます。
- 2 デバイ스에保存された軌跡、ルート、ポイントなどのデータが自動でアプリに同期されます。
同時に Garmin Explore アカウントのデータがデバイスに同期されます。

ナビゲーション

目的地検索

目的地を検索してナビゲーションを開始します。

- 1 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。



- 2 カテゴリーを選択します。

ヒント 表示されるカテゴリーは、デバイスで利用可能な地図データにより異なります。

- 3 目的地を選択します。
- 4 [**出発**] を選択します。
地図上にナビゲーションのルートが表示されます。

ナビゲーションを中止する

- 1 検索ボタンを押します。
- 2 [**ナビゲーション中止**] を選択します。

ポイント

現在地や任意の地点の位置情報をポイントとしてデバイスに保存することができます。深度、高度、名称など位置情報の詳細を追加できます。

ポイントを登録する

現在地をポイント登録します。

- 1 登録ボタンを押します。
- 2 必要に応じて、項目を選択して編集します。
- 3 [**保存**] を選択します。

ポイントへのナビゲーションを開始する

ポイントへのナビゲーションを開始します。

- 1 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。
- 2 [**ポイント**] を選択します。
- 3 保存済みポイント一覧から、ポイントを選択します。
- 4 [**出発**] を選択します。
地図上にナビゲーションのルートが表示されます。

ルート

ルートナビゲーションを開始する

- 1 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。

- 2 [**ルート**] を選択します。
- 3 保存済みルート一覧から、ルートを選択します。
- 4 [**出発**] を選択します。
地図上にナビゲーションのルートが表示されます。

ラウンドトリップ

距離と進行方位を指定して、一周でスタート地点に戻るルートを作成します。

- 1 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。
- 2 [**ラウンドトリップ**] を選択します。
- 3 次のオプションを設定します。
 - [**距離**] ルートの一周の距離を設定します。
 - [**スタート位置**] ルートの開始地点を設定します。
- 4 オプションの下に、探索されたルートが表示されます。
- 5 ルートを選択して、地図上でルートを確認します。
- 6 [**出発**] を選択します。

トラックバック

現在のアクティビティの軌跡をたどって開始地点に戻るナビゲーションを開始します。

- 1 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。
- 2 [**アクティビティ履歴**] を選択します。
- 3 [**現在のアクティビティ**] を選択します。
- 4 [**トラックバック**] を選択します。
地図上にナビゲーションのルートが表示されます。

シミュレーション

衛星受信モードをデモモードに設定することにより、ナビゲーションのルートを事前にシミュレートすることができます。

衛星受信モードをデモモードに設定する

- 1 メインメニューから[**設定**] > [**システム**] の順に選択します。
- 2 [**衛星情報**] を選択します。
- 3 [**デモモード**] を選択します。
GPS の受信がオフになります。

現在地を変更する

衛星受信モードをデモモードに変更した場合、地図上に表示される現在地は GPS で最後に記録した位置を示します。シミュレーションでナビゲーションの開始地点を別の場所に設定したい場合、現在地を変更します。

- 1 衛星受信モードをデモモードに設定します。
参照 13 ページ **衛星受信モードをデモモードに設定する**
- 2 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。
デモモードの現在地として設定する地点を選択します。
- 3 [**出発**] を選択します。
GPS で最後に記録した現在地から、選択した地点までのルートが探索されます。

ヒント GPS で最後に記録した現在地と選択した地点が離れていると、ルート探索に時間がかかる場合があります。その場合は、ルート探索設定の [**直行**] を [**はい**] に設定してください。

- 4 ルートが探索されると、メッセージとオプションが表示されます。
- 5 [**現在地変更**] を選択します。
デモモードの現在地が選択した地点に変更されます。

シミュレーションを開始する

- 1 衛星受信モードをデモモードに設定します。
[参照 13 ページ 衛星受信モードをデモモードに設定する](#)
- 2 必要に応じて、デモモードの現在地を変更します。
[参照 13 ページ 現在地を変更する](#)
- 3 検索ボタンを押して、目的地検索ページを表示します。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 目的地を選択します。
- 6 [**出発**] を選択します。
GPS で最後に記録した現在地（またはデモモードの現在地）から、選択した地点までのルートが探索されます。
- 7 ルートが探索されると、メッセージとオプションが表示されます。
- 8 [**はい**] を選択します。
シミュレーションが開始します。

メインメニュー

アクティビティ記録

デバイスがたどった軌跡は、アクティビティとして記録されます。アクティビティには、位置情報や日時、高度などの情報が保存されています。



① タブ

- ▶：現在のアクティビティの停止 / 再開、保存、削除の操作を行います。
- ⓘ：現在のアクティビティの詳細データを表示します。
- 📍：現在のアクティビティの軌跡を地図上で確認します。トラックバックのナビゲーションを開始します。

[参照 13 ページ](#) [トラックバック](#)

- 📈：現在のアクティビティの高度グラフを表示します。

[参照 10 ページ](#) [高度](#)

- ロッカーキーの左右で表示するタブを切り替えます。

② 現在のアクティビティのタイム / 距離

- 現在のアクティビティのタイムと距離が表示されます。

③ ■ 停止 / ▶ 再開

- 現在のアクティビティの記録を停止 / 再開します。

④ 📄 保存

- 現在のアクティビティを保存します。

⑤ 🗑️ 削除

- 現在のアクティビティを削除します。

現在のアクティビティを停止する

- 1 メインメニューから [**アクティビティ記録**] を選択します。
- 2 [**停止**] を選択します。
現在のアクティビティの記録が停止します。

メインページから現在のアクティビティを停止する

- 1 メインページ (地図ページ / 高度ページ / コンパスページ / トリップコンピュータページ) を表示した状態で、実行ボタンを押します。

- 2 画面下部にアクティビティ記録のオプションが表示されま
す。



- 3 [停止] を選択します。
- 4 アクティビティ保存ページが表示されます。
次のオプションを選択します。
- 現在のアクティビティを削除します。
 - [再開] 現在のアクティビティの記録を再開します。
 - 現在のアクティビティを保存します。

アクティビティ記録のメニュー

[軌跡設定]

アクティビティの記録に関する設定を行います。

[参照 15 ページ 記録設定 \(軌跡設定\)](#)

▶ タブ表示中のメニュー

[選択保存]

保存する範囲を指定して現在のアクティビティを保存します。

① タブ表示中のメニュー

[カラー選択]

軌跡の表示カラーを選択します。

[地図上に表示]/[地図上に表示しない]

軌跡を地図上に表示 / 非表示します。

タブ表示中のメニュー

[表示位置変更]

ロッカーキーで地図をスクロールします。

[詳細]

現在のアクティビティの詳細データを表示します。

[トラックバック]

現在のアクティビティのトラックバックのナビゲーションを開始します。

[参照 13 ページ トラックバック](#)

[ナビゲーション中止]/[ナビ再開]

実行中のナビゲーションを中止します。または直前に中止したナビゲーションを再開します。

[地図設定]

地図に関する設定を行います。

[参照 7 ページ 地図設定](#)

[設定リセット]

地図設定を初期状態にリセットします。

タブ表示中のメニュー

[リセット]

トリップデータ、ポイント、軌跡などのデータをリセットします。

[参照 31 ページ リセット](#)

[高度設定]

高度に関する設定を行います。

[参照 10 ページ 高度設定](#)

[ズーム倍率変更]

詳細グラフのズーム倍率を変更します。ロッカーキーの上下で Y 軸、左右で X 軸のスケールを調整します。

[データ項目変更]

データ項目を変更します。

[参照 10 ページ データ項目を変更する](#)

[設定リセット]

高度ページの設定を初期状態にリセットします。

記録設定 (軌跡設定)

アクティビティの記録に関する設定を行います。

メインメニューから [設定] > [記録] の順に選択します。

[記録方法]

アクティビティの軌跡の記録方法を選択します。

- [距離] 記録間隔を距離で設定します。
- [時間] 記録間隔を時間で設定します。
- [自動] 記録間隔を自動調節します。

[記録間隔]

アクティビティの軌跡の記録間隔を設定します。

[記録方法] で [距離] または [時間] を設定している場合は、数値を入力して [OK] を選択します。[自動] を選択している場合は、[最高]/[高]/[標準]/[低]/[最低] から選択します。

[自動ポーズ] オン/オフ

移動速度が設定した速度以下になったときに、アクティビティの記録を自動で停止します。

[自動スタート] オン/オフ

現在のアクティビティを保存または削除して終了した後に、自動で次のアクティビティの記録を開始します。

[アクティビティ]

現在のアクティビティのデフォルトアクティビティタイプを選択します。

[詳細設定]

アクティビティ記録に関する詳細設定を行います。

詳細設定

[データ出力]

アクティビティのデータ保存形式を選択します。

[参照 33 ページ ファイルタイプ](#)

- [FIT 形式] FIT 形式で保存します。
- [GPX/FIT] GPX 形式と FIT 形式で保存します。
- [GPX 自動保存] 容量満了時 / 毎日 / 週
現在のアクティビティの GPX データの自動保存タイミングを選択します。自動保存後、現在のアクティビティはリセットされます。

[トリップデータ記録] 軌跡取得中 / 常時

トリップデータの記録オプションを選択します。

[記録データリセット]

現在のアクティビティを保存または削除して終了する際に、リセットするデータを選択します。

- [軌跡とトリップデータ] 軌跡とトリップデータをリセットします。
- [毎回選択] リセットするデータを毎回選択します。現在のアクティビティを終了するときに、リセットするデータを選

択するオプションが表示されます。

天気

現在地周辺の予想天気と雲の動き、気温、風を確認します。

注意 天気機能を利用するには、デバイスをスマートフォンとペアリングまたは Wi-Fi に接続して、インターネット接続する必要があります。



①タブ

: 現在地の予想天気
現在地周辺の予想天気を確認します。

: 雲の動き
地図上で雲の動きを確認します。

: 気温
地図上で気温の分布を確認します。

: 風
地図上で風の向きを確認します。

②現在地の予想天気

現在地の予想気温、最高 / 最低気温、降水確率、1 時間ごとの天気、3 日後までの天気が表示されます。

天気メニュー

[プレイ]

雲の動き、気温、風の 3 時間ごとの変化を表示します。

[地図設定]

地図に関する設定を行います。

参照 [7 ページ 地図設定](#)

ポイントマネージャー

ポイントマネージャーでは、登録済みのポイントを一覧で確認したり、編集や削除などができます。

[ポイント一覧]

The screenshot shows the 'Point List' screen. At the top, there is a home icon (1) and a search icon (2). The list contains the following points:

Point Name	Distance	Direction
青木鉱泉	107km	西
夜叉神峠口	110km	西
辻山	111km	西
P2587	111km	西
地藏ヶ岳	112km	西

①シンボル

ポイントに任意のマークを割り当てることができます。

②ポイント名

ポイント名を表示します。

③現在地からの距離

現在地からの距離を表示します。

④現在地からの方位

現在地からの方位を示します。

ポイントを編集する

- 1 メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
保存済みポイント一覧から、編集するポイントを選択します。

[ポイント詳細]

The screenshot shows the 'Point Detail' screen for the point '青木鉱泉'. It displays the following information:

- ① シンボル: Home icon
- ② ポイント名 / 登録日: 青木鉱泉, 01-01-2012 13:52
- ③ メモ: (Empty)
- ④ 位置: 北 35°42'49.44", 東 138°21'11.12"
- ⑤ 高度: 1094m
- ⑥ 水深: (Empty)
- ⑦ 地図参照: Map reference button

①シンボル

ポイントに任意のマークを割り当てることができます。

②ポイント名 / 登録日

ポイント名を表示します。

③メモ

コメントを入力します。

④位置

位置情報が座標で表示されます。

⑤高度

高度データを表示します。

⑥水深

水深データを表示します。

⑦地図参照

ポイントを地図上で確認します。

- 項目を選択して編集します。
文字入力後は、[OK] を選択して確定します。

ポイントを削除する

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
- 保存済みポイント一覧から削除したいポイントを選択して、**メニューボタン**を押します。
- [消去] を選択します。
- メッセージを確認して、[消去] を選択します。

ポイント投影

ポイントを投影して新規ポイントを作成します。

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
- 投影の起点とするポイントを選択します。
- メニューボタンを押して、[ポイント投影] を選択します。
- 方位角を入力して、[OK] を選択します。
- 距離の単位を選択します。
- 距離を入力して、[OK] を選択します。
- 次のオプションを選択します。
 - [保存] 投影したポイントを保存します。
 - [保存と編集] 投影したポイントを保存して、ポイント詳細を表示します。

ポイント移動

ポイントを任意の位置に移動します。

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
- 移動したいポイントを選択します。
- メニューボタンを押して、[ポイント移動] を選択します。
- ポイントを移動したい位置にマップポインターを合わせて、[移動] を選択すると、ポイントが移動します。

ポイントをルートに追加する

ルートにポイントを追加します。

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
ルートに追加したいポイントを選択します。
- メニューボタンを押して、[ルートに追加] を選択します。
- 追加するルートを選択して、メッセージを確認して [OK] を選択します。

ポイントを現在地に変更する

ポイントの位置を現在地に置き換えます。

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
- 位置を現在地に置き換えたいポイントを選択します。
- メニューボタンを押して、[現在地に置き換え] を選択します。

写真を割り当てる

ポイントに写真を割り当てます。

- メインメニューから、[ポイントマネージャー] を選択します。
- 写真を割り当てたいポイントを選択します。
- メニューボタンを押して、[写真の割り当て] を選択します。
- 画像一覧が表示されます。割り当てる画像を選択します。

[参照 24 ページ](#) フォトビューアー

ポイントマネージャーのメニュー

ポイントマネージャーページを表示して、メニューボタンを押します。

[名前検索]

名前検索でポイントを絞り込みます。

[シンボル検索]

シンボルでポイントを絞り込みます。

[近隣検索]

指定した位置に近いポイントを検索します。

[並べ替え]

近隣順 / 名前順に並べ替えます。

[全て消去]

全てのポイントを削除します。

ポイント詳細表示中のメニュー

ポイントマネージャーページから、保存済みポイントを選択して、メニューボタンを押します。

[消去]

ポイントを削除します。

[写真の割り当て]

ポイントに写真を割り当てます。

[平均位置測定]

同一の地点で測位を複数回繰り返して、その平均値を求めることで、ポイントの位置精度を向上します。

[参照 24 ページ](#) 平均位置測定

[ポイント投影]

ポイントを投影して新規ポイントを作成します。

[参照 17 ページ](#) ポイント投影

[ポイント移動]

ポイントを任意の位置に移動します。

[参照 17 ページ](#) ポイント移動

[近隣検索]

選択したポイントに近いポイントを検索します。

[近接アラート]

近接アラートを設定します。

[参照 21 ページ](#) 近接アラート

[ルートに追加]

ポイントをルートに追加します。

[参照 17 ページ](#) ポイントをルートに追加する

[現在地に置き換え]

ポイントの位置を現在地に置き換えます。

[参照 17 ページ](#) ポイントを現在地に変更する

BirdsEye ダイレクト

BirdsEye イメージとは、詳細な衛星写真とラスターベースの地形情報を含む高解像度の地図イメージです。ワイヤレスでデバイスに BirdsEye イメージをダウンロードします。

BirdsEye イメージをダウンロードする

BirdsEye イメージをダウンロードするには、デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。

参照 11 ページ Wi-Fi 接続

- 1 メインメニューから [BirdsEye ダイレクト] を選択します。
- 2 [画像のダウンロード] を選択します。
- 3 次のオプションを設定します。
 - [位置] BirdsEye イメージを取得する位置を選択します。
注意 初期設定では、現在地に設定されています。
 - [名称] ファイル名を編集します。
 - [詳細度] 詳細度を [標準]/[高]/[最高] から選択します。
 - [半径] 取得する BirdsEye イメージの範囲を設定します。
[位置] で選択した地点から、設定した半径の範囲内のイメージが取得されます。
- 4 [ダウンロード] を選択します。

ジオキャッシュ

ジオキャッシュとは、GPS を利用した宝探しゲームです。ジオキャッシュのデータをデバイスにダウンロードして、ナビゲーションすることができます。

デバイスを Geocaching.com に登録する

www.geocaching.com にデバイスを登録して、近くのジオキャッシュを検索したり、ライブデータをダウンロードします。

- 1 デバイスをスマートフォンとペアリングまたは Wi-Fi ネットワークに接続します。

参照 11 ページ スマートフォンとペアリングする
12 ページ Wi-Fi に接続する

Geocaching.com に接続する

- 1 メインメニューから [設定] > [ジオキャッシュ] > [デバイスの登録] の順に選択します。
- 2 アクティベーションコードが表示されます。
- 3 <http://www.geo.co/garmin> にアクセスしてアクティベーションコードを入力します。
- 4 デバイスで [登録の確認] を選択します。
- 5 登録が完了したら、[ジオキャッシング開始] を選択します。


PC でジオキャッシュをダウンロードする

www.geocaching.com からダウンロードした GPX ファイル形式のジオキャッシュデータを、PC からデバイスに取り込みます。プレミアムアカウントの場合、poket query 機能で複数のジオキャッシュデータをグループ化して一つの GPX ファイルとしてダウンロードすることができます。


- 1 デバイスを PC に接続します。
- 2 www.geocaching.com にアクセスします。
- 3 新規アカウントを作成またはサインインします。
- 4 ジオキャッシュを検索して、GPX ファイルをダウンロードします。
- 5 ダウンロードした GPX ファイルを、デバイスの内蔵メモリ内の [Garmin] フォルダ > [GPX] フォルダに保存します。

ジオキャッシュを検索する


デバイスのジオキャッシュデータを名前や条件で絞り込んで検索します。

- 1 メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2  タブ表示中に、メニューボタンを押します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [名前検索] 名前検索でジオキャッシュを絞り込みます。
 - [近隣検索] 指定した位置に近いポイントを検索します。
 - [検索条件]
タイプやサイズでジオキャッシュを絞り込みます。選択した条件はデバイスに保存され、ジオキャッシュ設定の [絞り込み設定] で管理することができます。条件の選択画面でメニューボタンを押し、[絞り込みを適用] を選択して保存済みの絞り込み設定を呼び出すことができます。
 - [最近使用] 最近使用したジオキャッシュを表示します。


ライブジオキャッシュをダウンロードする

- 1 メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2  タブ表示中に、メニューボタンを押します。
- 3 [ライブデータのダウンロード] を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - [GC コード] ジオキャッシュコードを入力してダウンロードします。
 - [近隣ダウンロード] 任意の地点を選択して、選択した地点周辺のジオキャッシュデータをダウンロードします。

ジオキャッシュの詳細を確認する


- 1 メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2  タブから、詳細を確認するジオキャッシュを選択します。
- 3 メニューボタンを押し、[詳細] を選択します。

ジオキャッシュへのナビゲーションを開始する

- 1 メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2  タブから、ナビゲーションを開始するジオキャッシュを選択します。
- 3 [出発] を選択します。

ジオキャッシュのヒントを確認する

ジオキャッシュを発見するための便利な情報やヒントを確認します。

- 1 ジオキャッシュへのナビゲーション実行中に、メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2  のタブにナビゲーション実行中のジオキャッシュ名が表示されます。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [解説] ジオキャッシュの解説を確認します。
 - [ログ] 他のプレーヤーが記録したログを確認します。
 - [ヒント] ジオキャッシュのヒントを確認します。
 - [chirp] chirp (別売) を接続します。
 - [座標] マルチキャッシュの次のステージの座標を入力してナビゲーションを開始します。

ログを記録する

ジオキャッシュの探索結果のログを記録します。

- 1 ジオキャッシュへのナビゲーション実行中に、メインメニューから [ジオキャッシュ] を選択します。
- 2 ▶のタブにナビゲーション実行中のジオキャッシュ名が表示されます。
- 3 [メモ] を選択します。
- 4 探索結果を、[発見]/[未発見]/[修繕必要]/[不可(存在無し)] から選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - [OK] ログを終了します。
 - [次を探す] 最寄りのジオキャッシュへのナビゲーションを開始します。
 - [コメント] ログのコメントを入力します。
www.geocaching.com にサインインして接続している場合、自動的にログがアップロードされます。

chirp

ジオキャッシュに隠された chirp を検索して、ジオキャッシュを探索します。

chirp 検索を有効にする

- 1 メインメニューから [設定] > [ジオキャッシュ] の順に選択します。
- 2 [chirp 検索] を選択して、ステータスをオンにします。
chirp の検索が開始します。

chirp を利用してジオキャッシュを探索する

chirp 検索を有効にして、ジオキャッシュへのナビゲーションを開始します。

- 1 chirp が隠されたジオキャッシュの約 10m の範囲に入ると、chirp の詳細が表示されます。
- 2 [詳細] を選択します。
- 3 必要に応じて、[出発] を選択してナビゲーションを開始します。

デバイスからライブジオキャッシュデータを削除する

デバイスからライブジオキャッシュデータを削除します。ライブジオキャッシュデータを削除すると、デバイスに手動で取り込んだジオキャッシュデータのみが表示されます。

- 1 メインメニューから [設定] > [ジオキャッシュ] の順に選択します。
- 2 [ジオキャッシングライブ] > [ライブデータの削除] > [はい] の順に選択します。

Geocaching.com からデバイスの登録を解除する

- 1 メインメニューから [設定] > [ジオキャッシュ] の順に選択します。
- 2 [ジオキャッシングライブ] > [デバイスの登録解除] > [はい] の順に選択します。

ジオキャッシュ設定

[ジオキャッシングライブ]

ライブジオキャッシュの設定を行います。

参照 11 ページ [ライブジオキャッシュ](#)

[スタイル] 名前表示 / コード表示

ジオキャッシュの表示スタイルを選択します。

[chip 検索] オン / オフ

chirp 検索の有効 / 無効を設定します。

参照 19 ページ [chirp 検索を有効にする](#)

[chirp プログラム]

chirp の詳細の確認とプログラムの編集を行います。

[絞り込み設定]

保存済みの絞り込み設定を編集します。

[ジオキャッシュ発見数]

発見済みのジオキャッシュの数を編集します。

アドベンチャー

アドベンチャーとは軌跡やポイント、写真などの関連する複数のデータをグループ化したものです。BaseCamp (Garmin.co.jp/products/apps/basecamp/) でアドベンチャーデータを作成して、デバイスに転送することができます。

アドベンチャーを開始する

- 1 メインメニューから [アドベンチャー] を選択します。
- 2 アドベンチャーを選択します。
- 3 [開始] を選択します。
ナビゲーションが開始します。

救助ナビ

航行中のボートから落水したクルーを素早く救助する際に使う機能です。

救助ナビを開始する

- 1 メインメニューから [救助ナビ] を選択します。
- 2 [開始] を選択します。
ナビゲーションが開始します。

アクティビティ履歴

[アクティビティ履歴一覧]

現在のアクティビティ
2019-12-23 13-25-21
2019-12-21 11-22-05
2019-12-20 16-07-52

[アクティビティ詳細]

2019-12-26 23-07-57	
TP合計時間	経過時間
06:41:55	11:47:27
アクティビティ距離	面積
3.79km	0.20km²
軌跡ポイント	移動平均速度
1279	2.6km/h
総上昇量	総下降量
434m	285m

①現在のアクティビティ

現在のアクティビティを確認します。

参照 14 ページ [アクティビティ記録](#)

②保存済みアクティビティ一覧

保存済みのアクティビティが一覧で表示されます。

③アクティビティ詳細

一覧から選択したアクティビティの詳細が表示されます。

アクティビティ詳細のメニュー

アクティビティ履歴一覧からアクティビティ詳細を表示して、メニューボタンを押します。

[消去]

選択したアクティビティ履歴を削除します。

[反転してコピー]

選択したアクティビティの軌跡を反転してコピーを保存します。

[軌跡として保存]

選択したアクティビティを軌跡データとして保存します。保存したデータは [軌跡管理] から確認することができます。

[軌跡設定]

アクティビティの記録に関する設定を行います。

参照 15 ページ 記録設定 (軌跡設定)

実行ルート

実行中のナビゲーションのルートを確認します。



① 転換点一覧

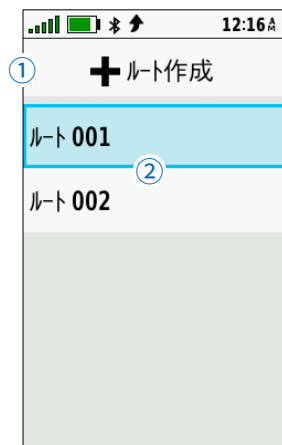
ルート上の転換点が一覧で表示されます。

② 転換点詳細

一覧から選択した転換点の詳細が表示されます。

ルート作成

ルートの新規作成と管理を行います。



① + ルート作成

ルートを新規作成します。

② 保存済みルート一覧

保存済みのルートが一覧で表示されます。

ルートを作成する

- 1 メインメニューから [ルート作成] を選択します。
- 2 [+ルート作成] > [開始ポイント選択] の順に選択します。
- 3 目的地検索のカテゴリが表示されます。カテゴリを選択して、ルートの開始地点となるポイントを選択します。
- 4 [使用] を選択します。
- 5 次の経由地点を追加するには、[次ポイント選択] を選択します。必要に応じて、手順 3 ~ 5 を繰り返します。
- 6 戻るボタンを押して、ルート作成を完了します。ルートが保存されます。

ルートのメニュー

ルート作成ページから、保存済みルートを選択してメニューボタンを押します。

[ルート編集]

ルートを編集します。

[地図参照]

地図上でルートを確認します。

[高度グラフ]

ルートの高度グラフを確認します。

[名前編集]

ルートの名前を編集します。

[ルート反転]

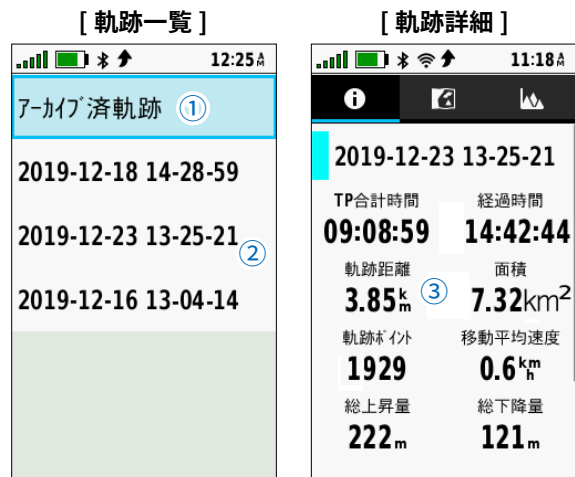
ルートを反転して保存します。

[ルート消去]

ルートを削除します。

軌跡管理

保存済みの軌跡データを管理します。



① アーカイブ済軌跡

アーカイブ済みの軌跡一覧を表示します。

② 保存済み軌跡一覧

保存済みの軌跡が一覧で表示されます。

③ 軌跡詳細

一覧から選択した軌跡の詳細が表示されます。

軌跡管理のメニュー

軌跡詳細表示中のメニュー

[消去]

軌跡を削除します。

[名前編集]

軌跡の名前を編集します。

[カラー選択]

軌跡の表示カラーを選択します。

[地図上に表示]/[地図上に表示しない]

軌跡を地図上に表示 / 非表示します。

[反転してコピー]

軌跡を反転してコピーを保存します

[アーカイブ済へ登録]

軌跡をアーカイブ済軌跡に移動します。

[保存済に登録]

アーカイブ済軌跡を保存済軌跡に移動します。

[軌跡設定]

アクティビティ記録に関する設定を行います。

[参照 15 ページ 記録設定 \(軌跡設定\)](#)

サイトナビ

サイトナビでナビゲーションを開始する

設定した方角に向かうナビゲーションを行います。目視はできても正確な位置や距離が分からない地点に向きたい場合に便利な機能です。

- 1 メインメニューから、[**サイトナビ**] を選択します。
- 2 デバイスを目的の方向に向けます。
- 3 [**方向ロック**] > [**ナビゲーション開始**] の順に選択します。
- 4 コースポインターが表示されます。

[参照 8 ページ コースポインター](#)

コースポインターの表示を参考にして、設定した方角に進みます。

近接アラート

近接ポイントに近づくと、デバイスが鳴動してお知らせします。



① + 近接ポイント作成

近接ポイントを新規作成します。

② 近接ポイント一覧

登録済みの近接ポイント一覧が表示されます。

近接ポイントを新規作成する

- 1 メインメニューから、[**近接アラート**] を選択します。
- 2 [**+ 近接ポイント作成**] を選択します。
- 3 目的地検索ページが表示されます。目的地検索で、近接ポイントに設定する地点を選択します。
[参照 13 ページ 目的地検索](#)
- 4 [**使用**] を選択します。
- 5 半径距離を入力して、[**OK**] を選択します。

近接ポイントを編集する

登録済みの近接ポイントを編集します。

- 1 メインメニューから、[**近接アラート**] を選択します。
- 2 登録済みの近接ポイント一覧から、編集したいポイントを選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - [**距離設定**] : 半径距離の設定を変更します。
 - [**地図参照**] : 近接ポイントの位置とアラートの有効範囲を地図上で確認します。
 - [**消去**] : 選択した近接ポイントを消去します。

近接アラートのメニュー

[全アラート有効 / 無効]

全てのアラートを有効または無効にします。

[全て消去]

全近接ポイントを消去します。

[単位設定]

近接アラートの有効範囲の距離の単位を選択します。

[アラート音設定]

近接アラートのトーンを設定します。

[参照 29 ページ トーン設定](#)

ワイヤレス通信

無線機能を使用して、ポイント、ジオキャッシュ、ルート、軌跡などのデータを共有します。

ヒント ワイヤレス通信を開始する前に、お使いの GPSMAP 66i と互換性のある Garmin デバイスを 3メートル以内に近づけてください。



① 送信

GPSMAP 66i のデータを対応する Garmin デバイスにワイヤレス送信します。

② 受信

対応する Garmin デバイスのデータを、GPSMAP 66i でワ

イヤレス受信します。

データを送受信する

- 1 メインメニューから、[**ワイヤレス通信**] を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [**送信**] : 送信するデータを選択します。(対応する Garmin デバイスを受信モードにしてください。)
 - [**受信**] : データを受信します。(対応する Garmin デバイスを送信モードにして、送信するデータを選択してください。)
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

プロフィール変更

デバイスの設定はすべて現在のプロフィールに保存されます。プロフィールを使い分けることで、デバイスの用途にあった設定をすぐに呼び出すことができます。



- ① **現在のプロフィール**
現在設定中のプロフィール名が表示されます。
- ② **プロフィール一覧**
デバイスにはあらかじめ 8 種類のプロフィールが登録されています。

プロフィールを変更する

- 1 メインメニューから、[**プロフィール**] を選択します。
- 2 変更したいプロフィールを選択します。

プロフィールを新規作成する

プロフィールを新規作成します。

- 1 プロフィールページを表示した状態で、**メニューボタン**を押します。
- 2 [**プロフィール設定**] を選択します。
- 3 [**+プロフィール作成**] を選択します。
- 4 現在のデバイスの設定を基に、新規プロフィールが作成されます。

プロフィールのメニュー

[**プロフィール設定**]

プロフィールに関する設定を行います。

参照 31 ページ [プロフィール設定](#)

面積計算

面積を計測したい範囲の外周をたどることで、周の内側の面積を算出します。

- 1 メッセージを確認して、[**開始**] を選択します。
- 2 計測したい範囲の外周を歩いてたどります。
- 3 計測を終了する地点で、[**計算**] を選択します。計測された面積が表示されます。
- 4 面積の表示単位を変更するには、[**単位設定**] を選択し、単位を選択します。
- 5 移動した軌跡を保存するには、[**軌跡保存**] を選択します。任意の名前を入力して [**OK**] を選択します。

面積計算のメニュー

面積計算を表示して、**メニューボタン**を押します。

[**地図設定**]

地図に関する設定を行います。

参照 7 ページ [地図設定](#)

カレンダー

カレンダーでは、今日の日付、登録したポイントや保存した軌跡ログを日付毎に確認できます。



- ① **西暦 / 月**
表示中のカレンダーの西暦と月を表示します。
インボタン / アウトボタンを押すと、月が切り替わります。
- ② **マーク**
マークの付いている日付に軌跡やポイントが記録されていることを示しています。
- ③ **選択した日付**
現在選択中の日付は、カラーで表示されます。
- ④ **現在の日付**
今日の日付がグレーで表示されます。
- ⑤ **情報ウィンドウ**
選択中の日付に記録したポイントや軌跡の一覧が表示されます。

カレンダーのメニュー

カレンダーを表示して、**メニューボタン**を押します。

[**現在日時を使用**]

今日の日付へ移動します。

[**太陽と月表示**]

日の出 / 日の入、月の出 / 月の入の時刻を表示します。

参照 23 ページ [太陽と月](#)

[**狩猟と釣り表示**]

狩猟や釣りに適した時間帯を表示します。

参照 23 ページ 狩猟と釣り

狩猟と釣り

狩猟と釣りでは、指定した地点や日付で、狩猟と釣りに適した時間帯を確認できます。



①西暦 / 月

表示中のカレンダーの西暦と月を表示します。インボタン / アウトボタンを押すと、月が切り替わります。

②現在の日付

今日の日付がグレーで表示されます。

③選択した日付

現在選択中の日付が、カラーで表示されます。

④情報ウィンドウ

選択中の日付の狩猟と釣りに適した時間帯が表示されます。

狩猟と釣り情報を確認する

確認したい日付を選択すると、情報ウィンドウに狩猟と釣りに適した時間が表示されます。

今日の日付の情報を確認する

1 狩猟と釣りページを表示した状態で、メニューボタンを押します。

2 [現在日時を使用] を選択します。

指定した位置の狩猟と釣り情報を確認する

1 狩猟と釣りページを表示した状態で、メニューボタンを押します。

2 [新位置設定] を選択します。

3 次のオプションを選択します。

• [ポイント] : 登録済みポイント一覧から、狩猟と釣り情報を確認したいポイントを選択します。

• [現在地周辺] : 現在地周辺の狩猟と釣り情報を表示します。

• [地図上で選択] : マップポインターを操作して、情報を確認したい地点に移動します。[使用] を選択すると、指定した位置の狩猟と釣り情報が表示されます。

太陽と月

太陽と月では、指定した地点や日付で、日の出 / 日の入 / 月の出 / 月の入の時刻と月の満ち欠けを確認できます。



①西暦 / 月

表示中のカレンダーの西暦と月を表示します。インボタン / アウトボタンを押すと、月が切り替わります。

②現在の日付

今日の日付がグレーで表示されます。

③選択した日付

現在選択中の日付が、カラーで表示されます。

④情報ウィンドウ

選択中の日付の日の出 / 日の入 / 月の出 / 月の入の時刻と月の満ち欠けの図が表示されます。

太陽と月情報を確認する

確認したい日付を選択すると、情報ウィンドウに太陽と月情報が表示されます。実行ボタンを押すと、太陽と月の位置を天空図で表示します。

天空図で太陽と月の位置を確認する

1 太陽と月ページを表示した状態で、メニューボタンを押します。

2 [天空図表示] を選択します。

3 一十を選択して、日付と時間の変更ができます。

指定した位置の太陽と月情報を確認する

1 太陽と月ページを表示した状態で、メニューボタンを押します。

2 [新位置設定] を選択します。

3 次のオプションを選択します。

• [ポイント] : 登録済みポイント一覧から、太陽と月情報を確認したいポイントを選択します。

• [現在地周辺] : 現在地周辺の太陽と月情報を表示します。

• [地図上で選択] : マップポインターを操作して、情報を確認したい地点に移動します。[使用] を選択すると、指定した位置の太陽と月情報が表示されます。

フォトビューアー

PC からデバイスの内蔵メモリに取り込んだ画像データや、microSD カード (別売) の画像データを閲覧することができます。

注意 JPEG 形式のファイルのみ対応しています。



画像を確認する

- 1 メインメニューから [フォトビューアー] を選択して、画像一覧から画像を選択します。
- 2 インボタン / アウトボタンを押すと、画像が拡大 / 縮小します。ロッカーキーの上下左右を押すと、画像が切り替わります。

フォトビューアーのメニュー

フォトビューアーページを表示して、**メニューボタン**を押します。

[写真を検索]-[最新] 更新日時時の新しい画像から順に表示されます。

[写真を検索]-[近隣] オプションから位置を指定し、その場所に近い順に画像を表示します。

[写真を検索]-[日付指定] 撮影日時から画像を検索します。以下のオプションは画像選択時のみ表示されます。

[地図参照]

画像に含まれる位置情報を地図上で確認することができます。(このオプションはジオタグ付きの画像にのみ表示されません。)

[詳細情報]

撮影日時やカメラ情報など、画像の詳細情報を確認できます。

[写真消去]

画像を削除します。

[スライドショー]

スライドショーを開始します。

平均位置測定

同一の地点で測位を複数回繰り返し、その平均値を求めことで、ポイントの位置精度を向上します。

新規のポイントだけでなく、過去に作成したポイントに対しても利用できます。



①ポイント作成

現在地の平均位置を測定し、ポイントとして保存します。

②ポイント一覧

保存済みポイント一覧が表示されます。平均位置測定を行うポイントを選択します。

平均位置を測定して新規ポイントを登録する

- 1 [ポイント作成] を選択します。
- 2 現在地の平均位置測定が開始します。精度計算中のステータスバーが 100% に達したら、[保存] を選択します。

保存済みのポイントの平均位置を測定する

- 1 平均位置測定ページを表示します。保存済みのポイント一覧から、測定したいポイントを選択します。

ヒント 平均位置測定を行うポイントの地点に移動する必要があります。

- 2 選択したポイントの平均位置測定が開始します。精度計算中のステータスバーが 100% に達したら、[保存] を選択します。
- 3 測定の間隔を 90 分以上空けて測定を 4 ~ 8 回繰り返すことで、測定精度が向上します。

平均位置測定メニュー

平均位置測定ページを表示して、**メニューボタン**を押します。

[名前検索]

名前検索でポイントを絞り込みます。

[シンボル検索]

シンボルでポイントを絞り込みます。

[近隣検索]

指定した位置に近いポイントを検索します。

[並べ替え]

近隣順 / 名前順に並べ替えます。

[全て消去]

全てのポイントを削除します。

計算機

電卓機能が利用できます。



計算機のメニュー

計算機を表示した状態で、**メニューボタン**を押します。

[関数]

関数電卓に切り替えます。(このオプションは、標準電卓使用時のみ表示されます。)

[標準]

標準電卓に切り替えます。(このオプションは、関数電卓使用時のみ表示されます。)

[ラジアン]

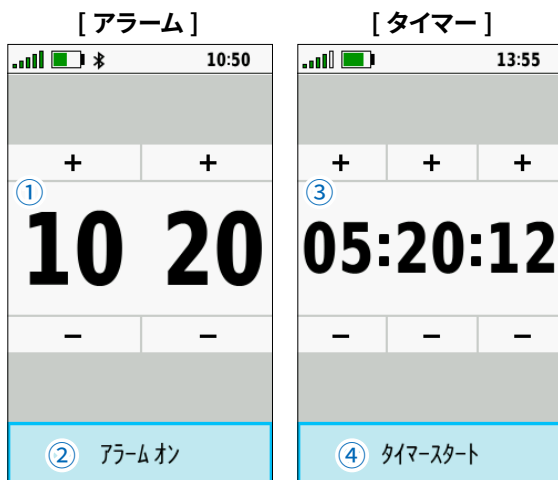
ラジアンを利用します。

[度]

度を利用します。

アラーム

アラーム機能とタイマー機能を利用できます。



① アラーム設定時刻

アラームの鳴動時刻を設定します。

② [アラームオン]/[アラームオフ]

アラームのオン / オフを切り替えます。

③ タイマー設定時間

タイマーのカウント時間を設定します。タイマーをスタートすると、残り時間が表示されます。

④ [タイマースタート]/[タイマーストップ]

タイマーをスタート / ストップします。

アラームを設定する

- 1 アラームの鳴動時刻を設定します。+または-を選択して、時・分を設定します。
- 2 [アラームオン]を選択して、**実行ボタン**を押します。
- 3 メッセージを確認して、[OK]を選択します。デバイスの電源がオフになります。設定時刻になると自動でデバイスの電源が入りアラームが鳴動します。

ヒント エクスペディションモード設定や inReach 機能の通信状態によっては、電源が落ちる前にオプションを選択する場合があります。

アラームを止める / スヌーズ機能を利用する

- 1 設定時刻になると、アラームが鳴動します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [スヌーズ]: アラームを停止して、10 分後に再度アラームを鳴らします。
 - [アラームオフ]: アラームを停止します。

タイマーを利用する

- 1 アラームページを表示した状態で、メニューボタンを押します。
- 2 [タイマー]を選択します。
- 3 タイマーのカウント時間を設定します。+または-を選択して、時・分・秒を設定します。
- 4 [タイマースタート]を選択して、実行ボタンを押すとカウントダウンが開始します。

ヒント タイマースタート後は、別のページに移動してもタイマーのカウントが継続します。

- 5 タイマーを途中で停止する場合は、[タイマーストップ]を選択します。
カウントダウンが終了すると、アラームが鳴動します。

アラームのメニュー

[アラーム]

アラーム機能に切り替えます。(このオプションはタイマー機能使用時のみ表示されます。)

[タイマー]

タイマー機能に切り替えます。(このオプションはアラーム機能使用時のみ表示されます。)

[時刻設定]

時刻に関する設定を行います。

参照 31 ページ 時刻設定

VIRB リモート

別売の VIRB デバイスと GPSMAP 66i を接続して、VIRB デバイスを遠隔操作することができます。

あらかじめ VIRB デバイスのリモート設定を有効に設定する必要があります。

詳細については VIRB シリーズの操作マニュアルをご参照ください。

- 1 VIRB デバイスの電源をオンにします。
- 2 GPSMAP 66i のメインメニューから [VIRB] を選択します。
- 3 接続可能な VIRB デバイスに自動で接続します。
 - 他の VIRB デバイスを検索するには、**メニューボタン**を押

してメニューを表示し、[スキャン] を選択します。

4 次のオプションを選択します。

- 録画を開始するには、 を選択して**実行ボタン**を押します。
- 静止画を撮影するには、 を選択して**実行ボタン**を押します。

VIRB リモートのメニュー

VIRB リモートページを表示して、**メニューボタン**を押します。表示されるオプションは、実行中の機能や設定により異なります。

- [スキャン] 接続可能な VIRB デバイスを検索します。
- [スリープ] VIRB デバイスをスリープモードに切り替えます。
- [ビデオ設定]-[モード] 録画モードを選択します。
- [フォト設定]-[モード] 撮影モードを選択します。
- [レンズモード] カメラのレンズモードを変更します。

ストップウォッチ

ストップウォッチでは、ストップウォッチ機能とラップタイム取得機能が利用できます。

現在の軌跡と同期して表示することも可能です。



①ストップウォッチ

トータルタイムを表示します。

②ラップ数

ラップ数を表示します。

③前回ラップ

前回ラップタイムを表示します。

④合計ラップ

合計ラップタイムを表示します。

⑤ラップ / リセット

[ラップ] ラップを取得します。

[リセット] リセットします。

⑥ラップ距離

ラップの距離を表示します。

⑦現在ラップ

現在取得中のラップタイムを表示します。

⑧平均ラップ

取得したすべてのラップの平均タイムを表示します。

⑨開始 / 停止

[開始] タイマーをスタートします。

[停止] タイマーをストップします。

ストップウォッチ機能を使用する

- 1 ストップウォッチページで [開始] を選択します。実行ボタンを押すと、タイマーが開始します。
- 2 ラップタイムを取得するには、[ラップ] を選択します。実行ボタンを押すたびに、ラップタイムが記録されます。
- 3 タイマーを停止するには、[停止] を選択します。
- 4 タイマーをリセットするには、[リセット] を選択します。

ストップウォッチのメニュー

ストップウォッチを表示して、**メニューボタン**を押します。

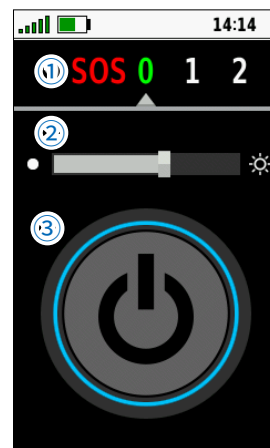
[軌跡取得有効 / 無効]

軌跡取得を有効にすると、現在の軌跡と同期します。

フラッシュライト

フラッシュライトを懐中電灯として利用したり、SOS パターンや任意の間隔で点滅させることができます。

注意 フラッシュライトを使用すると、バッテリーを多く消費します。



①フラッシュパターン

ライトの点滅パターンを選択します。

カーソル▲を選択して、**ロッカーキー**の左右で点滅パターンを切り替えます。

0	点灯
1-9	1 秒間の点滅回数
SOS	救助信号の点滅パターン

②明るさ調整

ロッカーキーの左右でライトの明るさを調節します。

③ 電源ボタン

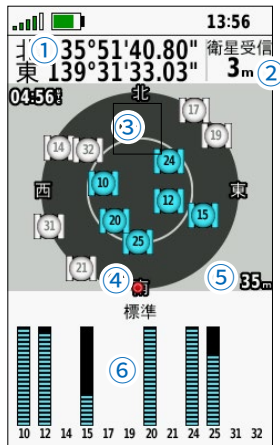
ライトを点灯 / 消灯します。

XERO 位置

Xero bow sight を接続中のみ利用可能です。(Xero bow sight は 2020 年 2 月現在日本未発売です。)

衛星情報

衛星情報ページでは、現在の位置情報、GPS の精度、衛星の位置、衛星の識別番号と強度を確認できます。



① 緯度経度

現在地の緯度経度（座標）を表示します。

② 位置精度

位置精度の誤差（半径）を表示します。

③ 衛星配置図

補足している衛星とその識別番号を天空図で確認できます。

④ 進行方向

進行方向を示します。（ノースアップ設定時）

⑤ 衛星測位高度

現在地の GPS 高度を表示します。

⑥ 信号強度グラフ

衛星信号の受信強度をグラフで表示します。

衛星情報のメニュー

衛星情報ページを表示して、**メニューボタン**を押します。

[トラックアップ]

衛星配置図の表示を切り替えます。（このオプションは、ノースアップ設定時のみ表示されます）

[ノースアップ]

衛星配置図の表示を切り替えます。（このオプションは、トラックアップ設定時のみ表示されます。）

[シングルカラー]

衛星配置図と信号強度グラフの色をシングルカラーに切り替えます。（このオプションは、マルチカラー設定時のみ表示されます。）

[マルチカラー]

衛星配置図と信号強度グラフの色をマルチカラーに切り替えます。（このオプションは、シングルカラー設定時のみ表示されます。）

[衛星設定]

衛星受信に関する設定を行います。

参照 27 ページ [衛星設定](#)

設定

デバイスの各種設定を行います。メインメニューから **[設定]** を選択します。

システム設定

システムに関する設定を行います。メインメニューから **[設定]** > **[システム]** の順に選択します。

[衛星情報]

衛星受信に関する設定を行います。

参照 27 ページ [衛星設定](#)

[言語]

デバイスの表示言語を選択します。

[日本語] または **[English]** から選択します。

注意 表示言語を変更しても、ポイント名などのユーザーが入力した名称や、地図データに登録された名称などの言語は変更されません。

[インターフェース]

データ出力フォーマットを選択します。

参照 27 ページ [インターフェース設定](#)

[RINEX ロギング]

RINEX 形式（Receiver Independent Exchange Format）のデータをデバイスのシステムフォルダ（Garmin フォルダ）> RINEX フォルダ）に書き出します。RINEX は、衛星ナビゲーションシステムの共通フォーマットとして使われているファイル形式です。**実行ボタン**でオン / オフを切り替えます。

衛星設定

メインメニューから **[設定]** > **[システム]** > **[衛星情報]** の順に選択します。

[衛星受信モード]

衛星受信モードを選択します。

- **[標準]** GPS を受信します。
- **[GPS+GALILEO]** GPS、GALILEO の信号を受信します。
- **[デモモード]** GPS をオフにします。シミュレーションを行う場合に使用します。

参照 13 ページ [シミュレーション](#)

[MSAS/WAAS] オン / オフ

MSAS/WAAS の衛星信号受信のオン / オフを選択します。**実行ボタン**でオン / オフを切り替えます。

インターフェース設定

メインメニューから **[設定]** > **[システム]** > **[インターフェース]** の順に選択します。

[Garmin Spanner]

仮想シリアルポート接続による NMEA 0183 準拠プログラム用（USB バスパワー給電でデバイスを使用可能）

[Garmin シリアル]

PC とのデータ（ポイント・軌跡・ルート）交換用

[NMEA]

NMEA 0183 データ入出力用

[テキスト出力]

位置情報と速度情報の ASCII テキスト出力用

[MTP]

メディア転送プロトコル（MTP）接続用

ディスプレイ設定

ディスプレイに関する設定を行います。メインメニューから [設定] > [ディスプレイ] の順に選択します。

[バックライト点灯]

バックライトの点灯時間を選択します。

- [常時オン] ディスプレイがオンのとき、バックライトが常時点灯します。
- [15秒]/[30秒]/[1分]/[2分]
ディスプレイがオンのとき、選択した時間バックライトが点灯します。

[バッテリーセーブ] オン/オフ

バックライトの消灯と同時にディスプレイをオフにし、バッテリーの消費を抑えます。実行ボタンでオン/オフを選択します。

[デザイン]

ディスプレイのデザインを選択します。

参照 28ページ [デザイン設定](#)

[スクリーンショット] オン/オフ

①ボタンを押したときに、ディスプレイのスクリーンショットを取得します。スクリーンショットは、内蔵メモリの **Garmin** フォルダ > **scrn** フォルダに保存されます。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

注意 スクリーンショット機能がオンのとき、ステータスページは表示されません。スクリーンショット機能は、デバイスの電源を落とすとオフになります。

[詳細ページ文字サイズ] [標準]/[大]

詳細ページの文字の大きさを選択します。

デザイン設定

メインメニューから [設定] > [ディスプレイ] > [デザイン] の順に選択します。

[表示モード]

表示モードを選択します。

- [自動] 現在の時刻をもとに昼間モードと夜間モードを自動で切り替えます。
- [昼間] 背景色を白で表示します。ハイライト色は [昼間ハイライト] で設定した色で表示されます。
- [夜間] 背景色をダークカラーで表示します。ハイライト色は [夜間ハイライト] で設定した色で表示されます。

[昼間ハイライト]/[夜間ハイライト]

[昼間]/[夜間] モード表示でのハイライト色を選択します。

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。メインメニューから [設定] > [Bluetooth] の順に選択します。

ヒント 初めて Bluetooth 接続を行う場合、[設定] > [Bluetooth] を選択すると、スマートフォンとのペアリングが開始します。(11ページ) ペアリング以降、以下のオプションが表示されます。

[ステータス] オン/オフ

Bluetooth 接続の有効/無効を設定します。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。オンの場合、接続ステータスが表示されます。

以下のオプションは、Bluetooth 接続ステータスがオンの場合のみ表示されます。

[通知] 表示/非表示

通知受信時に表示されるバナーの表示/非表示を設定します。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[ペアリング解除]

ペアリング済みのスマートフォンとのペアリングを解除します。

Wi-Fi 設定

Wi-Fi 接続に関する設定を行います。メインメニューから [設定] > [Wi-Fi] の順に選択します。

[Wi-Fi] オン/オフ

Wi-Fi 接続の有効/無効を設定します。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

以下のオプションは、Wi-Fi 接続ステータスがオンの場合のみ表示されます。

[ネットワーク追加]

Wi-Fi ネットワークを検索して接続先を選択します。

[(ネットワーク名)]

接続済みネットワーク名が表示されます。デバイスが接続中のネットワーク名には、接続ステータスと電波強度が表示されます。ネットワーク名を選択して、ネットワークに接続またはネットワークを削除することができます。

ルート探索設定

ルート探索に関する設定を行います。メインメニューから [設定] > [ルート探索] の順に選択します。

[直行] はい/いいえ

ナビゲーションの開始地点から終了地点（または経由地点）を直線で結んだルートで案内します。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[次ポイント]

直行のナビゲーションで次の経由地へ移行する方法を選択します。

- [自動] 自動で次のポイントに切り替えます。
- [手動] 手動で次のポイントに切り替えます。
- [距離] 設定した距離（半径）以内まで近づくと、自動で次のポイントに切り替えます。

[アクティビティ]

ルート探索のアクティビティを選択します。選択したアクティビティに最適化されたルートが探索されます。（このオプションは [直行] が [はい] の場合表示されません。）

[毎回選択] を選択した場合、ナビゲーションの開始時にルート探索のアクティビティを選択する画面が表示されます。

[ルート探索方法]

ルート探索方法を選択します。[アクティビティ] で選択したアクティビティにより、選択可能なオプションは異なります。（このオプションは [直行] が [はい] の場合表示されません。）

- [時間優先] 所要時間が少なくなるようなルートを探します。
- [距離優先] 距離が短くなるようなルートを探します。
- [一般道優先] 一般道を優先したルートを探します。
- [有料道路優先] 有料道路を優先したルートを探します。
- [毎回選択] ナビゲーション開始時に、ルート探索方法を選択します。
- [アクティビティ] アクティビティに適したルート探索方法を自動選択します。（このオプションは、[アクティビティ] の設定を [毎回選択] に設定している場合のみ表示されます。）

[マップマッチ] はい/いいえ

付近の道路上に現在地を補正します。道路上をナビゲーションする際に便利な機能です。

[ルート再計算]

ナビゲーション中にルートから外れたとき、ルートを再計算します。(このオプションは[直行]が[はい]の場合表示されません。)

- [毎回選択] ルートから外れるたびに、再計算するか確認します。
- [自動] ルートから外れた場合、自動で再計算します。
- [オフ] 再計算を行いません。

[回避]

ルート探索で回避したい道路や走行条件を選択します。(このオプションは[直行]が[はい]の場合表示されません。)

実行ボタンで回避したいオプションにチェックマークを入れます。(回避可能なオプションは、アクティビティにより異なります。)

ポイント設定

ポイント名のプレフィックスとサフィックスを設定します。メインメニューから[設定]>[ポイント]の順に選択します。

[プレフィックス有効] はい/いいえ

新規登録するポイントの名称に任意のプレフィックス(接頭語)を付加します。**実行ボタン**でオン/オフを切り替えます。

[プレフィックス]

任意のプレフィックスを入力します。(このオプションは、[プレフィックス有効]が[はい]の場合のみ表示されます。)

[サフィックス]

新規登録するポイントの名称となる通し番号の開始番号を設定します。

トーン設定

デバイスの操作音やバイブレーション、アラートの鳴動に関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[トーン]の順に選択します。

[音/バイブ]

デバイスの鳴動タイプを選択します。

- [トーン&バイブレーション] 音とバイブレーションを有効にします。
- [トーン] 音のみ有効にします。
- [バイブレーション] バイブレーションのみ有効にします。
- [オフ] 音とバイブレーションを無効にします。

[メッセージ]

メッセージウィンドウ表示時のトーンを選択します。([オフ]で無効)

[キー操作音]

ボタン押下時のトーンを選択します。([オフ]で無効)

[転換点警告]

ナビゲーションの転換点に接近/到着した際のトーンを選択します。

- [初期転換点警告] 転換点に接近した際のトーンを選択します。([オフ]で無効)
- [最終転換点警告] 転換点に到着した際のトーンを選択します。([オフ]で無効)

[近接アラート]

近接アラートのトーンを設定します。

- [近接アラート] オン/オフ
近接アラートのトーンをオン/オフにします。**実行ボタン**

オン/オフを切り替えます。

- [近接ポイント警告音] ポイントに到着した際の音を選択します。([オフ]で無効)
- [近接ポイント到着音] ポイントに近づいた際の音を選択します。([オフ]で無効)
- [近接ポイント離脱音] ポイントから離れる際の音を選択します。([オフ]で無効)
- [近接スピードアラート] スピードアラートの警告音を選択します。([オフ]で無効)

[inReach]

inReach メッセージの受信/送信時のトーンを選択します。

- [メッセージ受信音] inReach メッセージ受信時のトーンを選択します。([オフ]で無効)
- [メッセージ送信音] inReach メッセージ送信時のトーンを選択します。([オフ]で無効)

センサー設定

ワイヤレスセンサーのペアリングと設定を行います。メインメニューから[設定]>[センサー]の順に選択します。

ワイヤレスセンサーをペアリングする

デバイスは別売のANT+ センサーとBluetooth センサーに対応しています。デバイスに対応するセンサーについてはGarmin.co.jpをご覧ください。

- 1 デバイスとペアリングするワイヤレスセンサーを3m以内に近づけます。

注意 他のワイヤレスセンサーから10m以上離れてください。

- 2 メインメニューから[設定]>[センサー]の順に選択します。
- 3 センサータイプを選択して、[スキャン]を選択します。
接続可能なセンサーの検索が開始します。
ワイヤレスセンサーとのペアリングが完了すると、センサーステータスが接続中に変ります。

センサータイプ

[フィットネス]

フィットネスセンサー ([心拍計]/[スピードセンサー]/[ケイデンスセンサー]/[スピード/ケイデンスセンサー]) のオン/オフを設定します。[スキャン]を選択して新しいセンサーを検索します。スピードセンサーはホイールサイズを[自動]または[手動]で設定します。

[温度計]

ワイヤレス温度センサーのオン/オフを設定します。[スキャン]を選択して新しいセンサーを検索します。

[XERO]

XERO センサーの設定を行います。(対応するセンサーは2020年2月現在日本未発売です。)

フィットネス設定

自動ラップとユーザープロフィール、心拍ゾーンを設定します。メインメニューから[設定]>[フィットネス]の順に選択します。

[自動ラップ] オン/オフ

設定した距離ごとに自動でラップを取得します。**実行ボタン**でオン/オフを切り替えます。

オンに設定した場合、任意の距離を入力して[OK]を選択します。

[ユーザー]

ユーザーの[年齢]/[体重]/[身長]/[性別]/[ライフタイムアスリート]のオン/オフを設定します。

ライフタイムアスリートとは、怪我をしている時や運動ができない時を除き、継続的に運動を行っている方のことを指します。スポーツ選手はもちろん、一週間に12時間以上のトレーニングを長年行っている方は、一般の方に比べて筋肉量や筋肉の水分量などに違いがあるため、安静時の心拍数が60bpm以下を目安に、ライフタイムアスリート項目を[はい]に設定してください。

[心拍ゾーン]

ユーザーの[最大心拍数]と[ゾーン1]～[ゾーン5]の心拍ゾーンを設定します。

マリン設定

マリン機能に関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[マリン]の順に選択します。

注意 マリン機能を使用するには、対応する地図(別売)が必要です。

[マリンモード] オフ/航海/釣り

地図上の海の表示色を選択します。

[表示設定]

航海中の地図表示に関する設定を行います。

参照 30ページ 表示設定

[マリンアラーム設定]

マリンアラームを設定します。

参照 30ページ マリンアラーム設定

[マリンスピードフィルター]

スピードの計測値を平均化して表示します。

- [オフ] マリンスピードフィルターを無効にします。
- [自動] マリンスピードフィルターを自動調整します。
- [カスタム] 設定した秒数ごとにスピードの計測値を平均化して表示します。

表示設定

航海中の地図表示に関する設定を行います。

[地点測深値] オン/オフ

海上に地点測深値情報を表示します。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[ライトセクター] オン/自動/オフ

灯台が明かりを照らす範囲を円で表示します。

[記号設定] NOAA/インターナショナル

マリン対応地図の記号情報の表示方法を選択します。

[セーフティシェーディング] 自動/手動

浅水域の境界をシェーディング表示します。[手動]を選択した場合、安全な深度を設定して、その深度より浅い水域をシェーディングします。

マリンアラーム設定

マリンアラームを設定します。

[アンカー移動アラーム] オン/オフ

設定したドリフト距離を超えた際にアラームします。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[オフコース] オン/オフ

設定した距離を超えてコースが逸脱した際にアラームします。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[深水] オン/オフ

設定した水深より深い水深になった際にアラームします。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

[浅水] オン/オフ

設定した水深より浅い水深になった際にアラームします。実行ボタンでオン/オフを切り替えます。

メニュー設定

メインメニューやショートカット、設定ページ、目的地検索ページの表示に関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[メニュー]の順に選択します。

[メニュースタイル]

メインメニューや目的地検索ページのメニューの表示形式を選択します。

- [グリッド小] メニューが小アイコンで表示されます。
- [グリッド大] メニューが大アイコンで表示されます。
- [リスト] メニューがリストで表示されます。

[メインメニュー]

メインメニューの表示項目を編集します。

編集する項目を選択して、次のオプションを選択します。

- [移動] メニュー項目の位置を移動します。
- [挿入] 選択した項目の上部に、[アプリケーション]、[設定]、[目的地検索]のカテゴリから選択した項目を挿入します。
- [削除] メインメニューから選択した項目を削除します。(このオプションは、[設定]には表示されません。)

[ショートカット設定]

ショートカットに関する設定を行います。

- [リボン表示] オフ/ゆっくり/遅い
ショートカットに登録したページを切り替えるときに、リボン表示からページに切り替わるまでの速さを選択します。([オフ]でリボン表示を無効)
- [ショートカット編集]
ショートカットに登録されたページの移動または削除と、ページの追加を行います。
編集する項目を選択して、次のオプションを選択します。
- [移動] ページの表示順を移動します。
- [挿入] 選択したページの上部に、[アプリケーション]、[設定]、[目的地検索]のカテゴリから選択したページを挿入します。
- [削除] ショートカットから選択したページを削除します。

[設定]

設定ページの表示項目を並べ替えます。

並べ替える項目を選択します。ロッカーキーの上下で移動して、実行ボタンで決定します。

[検索]

目的地検索ページの表示項目を並べ替えます。

並べ替える項目を選択します。ロッカーキーの上下で移動して、実行ボタンで決定します。

位置フォーマット設定

位置フォーマットに関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[位置フォーマット]の順に選択します。

[位置]

位置フォーマットを設定します。初期設定では、日本における一般的な位置フォーマット[hddd° mm' ss.ss"]が選択されています。

[測地系]

測地系を選択します。

測地系とは、地球上の緯度経度を表すための基準です。初期設定では、日本の測量法により使用が定められている[WGS84(世界測地系)]が選択されています。

[スフェロイド]

スフェロイドを設定します。

スフェロイドとは、測地系同様に地球上の位置を表すための基準です。(このオプションは、[測地系]で[User]または[None]を選択した場合のみ表示されます。)

単位設定

単位に関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[単位]の順に選択します。

[距離 / スピード]

距離とスピードの単位を[海里 (nm,kt,ft)]/[海里 (nm,kt,m)]/[マイル/フィート][メートル][ヤード]から選択します。

[昇降速度]

昇降速度の単位を[フィート (ft/min)] フィート (ft/hr)][メートル (m/min)][メートル (m/sec)][メートル (m/hr)]から選択します。

[高度]

高度と深度の単位が設定できます。

- [高度] [メートル][フィート]から選択します。
- [深度] [メートル][フィート][ファゾム]から選択します。

[気温]

気温の単位を[摂氏][華氏]から選択します。

[気圧]

気圧の単位を[インチ (Hg)][ミリメートル (Hg)][ミリバール][ヘクトパスカル]から選択します。

時刻設定

時刻に関する設定を行います。メインメニューから[設定]>[時刻]の順に選択します。

[時間表示]

時間の表示方法を選択します。

- [12時間] AM (午前) /PM (午後) を用いた 12 時間制で表示します。
- [24時間] 24 時間制で表示します。

[タイムゾーン]

タイムゾーンを設定します。

- [(地域名)] 選択した地域のタイムゾーンで時間が表示されます。
- [自動] 現在地のタイムゾーンが自動設定されます。
- [サマータイム] はい / いいえ
サマータイムを適用します。(このオプションは、[タイムゾーン]が[自動]の場合表示されません。)

プロフィール設定

デバイスの使用方法ごとに、アクティビティや各種設定の状態をプロフィールとして登録できます。

プロフィール使用中に設定を変更すると、自動的に設定が保存されます。メインメニューから[設定]>[プロフィール]の順に選択します。

[+プロフィール作成]

新規プロフィールを作成します。

新規作成したプロフィールまたはデフォルトのプロフィールを選択して、次のオプションを選択します。

- [名前編集] プロフィール名を編集します。

- [上方向へ / 下方向へ] プロフィール一覧を並べ替えます。
- [消去] プロフィールを削除します。(このオプションは、現在使用中のプロフィールには表示されません。)
- [使用] プロフィールを使用します。(このオプションは、現在使用中のプロフィールには表示されません。)

リセット

データや設定のリセットを行います。メインメニューから[設定]>[リセット]の順に選択します。

[TP データ消去]

全てのトリップデータを消去します。

[全ポイント消去]

登録した全てのポイントを消去します。

[現在の軌跡消去]

現在の軌跡ログを消去します。

[プロフィール設定リセット]

現在のプロフィールが初期化されます。

[全設定リセット]

すべての設定を工場出荷状態に戻します。

[全消去]

デバイスに保存されているすべてのデータが消去されます。履歴、軌跡、ポイントなどが削除され、全設定が工場出荷状態にリセットされます。

デバイス情報

仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオン電池
バッテリー稼働時間	最大 35 時間 (通常モード) 最大 200 時間 (エクスペディションモード)
防水性能	IEC 60529 IPX7*
動作温度範囲	-20°C ~ 60°C
充電温度範囲	0°C ~ 40°C
コンパス安全距離	17.5cm
内蔵メモリ	16GB
保存可能データ数	ポイント：最大 5000 ポイント ルート：最大 250 本 軌跡：最大 250GPX ファイルまたは 300FIT ファイル (20000 ポイント / ファイル)

* 防水性能について詳しくは、Garmin.co.jp/legal/waterrating/ をご参照ください。

バッテリーに関する情報

バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、GPS モードや内部センサー、接続中のセンサーなどの設定、スマートフォン通知の頻度、各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

バッテリー稼働時間

稼働時間	モード
最大 200 時間	エクスペディションモード LiveTrack 記録間隔：30 分間
最大 35 時間	通常モード LiveTrack 記録間隔：10 分間 (自動記録オン)
最大 1 年	電源オフの状態

バッテリー稼働時間を長くするには

次のいずれかまたは複数の方法をお試しください。

- バックライトの点灯時間を短く設定してください。
[参照 28 ページ ディスプレイ設定](#)
- LiveTrack の記録間隔を長く設定してください。
[参照 4 ページ LiveTrack](#)
- Bluetooth 接続をオフに設定してください。
[参照 28 ページ Bluetooth 設定](#)

バッテリーセーブモードをオンにする

バッテリーセーブモードを使用することで、バッテリー稼働時間を長くすることができます。

メインメニューから [設定] > [ディスプレイ] > [バッテリー

セーブ] を選択します。

実行ボタンでステータスをオンに切り替えます。

バッテリーセーブモードでは、バックライトがタイムアウトすると、画面がオフになります。⓪ ボタンを押すと、画面がオンになります。

エクスペディションモードをオンにする

エクスペディションモードを使用することで、バッテリー稼働時間を長くすることができます。

エクスペディションモードでは、バックライトがタイムアウトすると、画面がオフになり、軌跡ログの記録頻度が減少します。

- メインメニューから [設定] > [エクスペディションモード] の順に選択します
- 次のオプションを選択します。
 - [毎回選択] 電源をオフにするときに、エクスペディションモードの切り替えメッセージを表示します。
 - [自動] 何も操作せず 2 分間経過すると、自動的にエクスペディションモードをオンにします。
 - [表示しない] エクスペディションモードをオフにします。

エクスペディションモードがオンの場合、ステータス LED ランプが緑色に点滅します。

デバイスを長期間保管する場合には

デバイスを数か月間使用しない場合は、保管する前にバッテリーを 50% 程度充電します。デバイスは、高温多湿の場所を避けて保管してください。使用を再開する前に、デバイスを満充電してください。

カラビナクリップを取り付ける

- デバイスのマウントアングル ② の溝にカラビナクリップ ① を挿入します。



- しっかり固定される位置までカラビナクリップをスライドします。

カラビナクリップを取り外す

カラビナクリップの下部を持ち上げてから、取り付けたときと反対方向にスライドします。

ストラップを取り付ける

- 1 ストラップの先端をデバイスの取り付け部に通します。



- 2 通した先端部分にストラップを通し、固定されるまで引っ張ります。
- 3 必要に応じて、衣服やバックパックにストラップを取り付けます。

お取り扱い上の注意事項

注意

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

デバイスの防水性能は、IEC 60529 IPX7 に対応しています。これは、水深 1 メートルに 30 分間放置しても浸水しない防水性能と定義されています。デバイスを長時間水中に放置すると、デバイスの動作に影響を及ぼすおそれがあります。デバイスを濡らしたり、水中に落とした場合などには、乾いた布でふき取り、よく乾かしてから使用してください。

塩素や海水がデバイスに付着した場合は、真水で洗い流してください。

クリーニング方法

注意

サビや腐食の原因となりますので、本体および USB ケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電または PC 接続の前に必ずクリーニングしてください。

- 1 薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で、デバイスを優しく拭き取ります。
- 2 乾いた布で水分を拭き取ります。

データ管理

注意 このデバイスは Windows® 95, 98, Me, Windows NT® と Mac® OS 10.3 以前のバージョンには対応していません。

ファイルタイプ

デバイスは、以下のファイルタイプをサポートしています。

- Garmin Explore のファイル
- ルート、トラック、ポイントの GPX ファイル
- ジオキャッシュの GPX ファイル

参照 18 ページ PC でジオキャッシュをダウンロードする

- JPEG ファイル
- カスタム POI の GPI ファイル (Garmin POI Loader www.garmin.com/products/poiloader)

メモリーカードを挿入する

保存容量を増やしたい場合や別売の地図を使用する場合に、microSD カードを挿入します。

- 1 デバイスの側面にある防水カバー ① を持ち上げます。

防水カバーの下に microSD カードスロットがあります。



- 2 microSD カードの金属端子面がデバイスの画面側に向けた状態で、カチッと音がするまで microSD カードをカードスロットに差し込みます。

デバイスを PC に接続する

注意

腐食を防ぐため、充電または PC へデバイスを接続する前に、USB ポート及び防水カバーを十分に乾燥させてください。

- 1 デバイスの防水カバーを外します。
- 2 USB ケーブルの microUSB 端子をデバイスの microUSB ポートに差し込みます。
- 3 USB ケーブルの USB (TypeA) 端子を PC の USB ポートに差し込みます。

デバイスとメモリーカード (別売) は、Windows® PC ではドライブ、Mac® PC ではボリュームとして表示されます。

デバイスにファイルを転送する

- 1 PC にデバイスを接続します。
Windows PC では、デバイスはリムーバブルドライブまたはポータブルデバイスとして表示されます。メモリーカード (別売) は、別のリムーバブルドライブとして表示されます。Mac PC では、デバイスとメモリーカード (別売) はボリュームとして表示されます。

注意 複数のネットワークドライブを接続している場合、デバイスのドライブが正常に表示されない場合があります。ドライブの割り当て方法については、ご使用の OS の説明書等をご確認ください。

- 2 PC で、ファイルブラウザから転送するファイルが保存されたフォルダを開きます。
- 3 転送するファイルを選択して、コピーします。
- 4 転送先のドライブ (デバイスまたはメモリーカード) を開きます。
- 5 転送先のフォルダを開きます。
- 6 コピーしたファイルを貼り付けます。

ファイルを削除する

注意

デバイスのメモリ内には、重要なシステムファイルが保存されています。それらのファイルを消去してしまった場合、デバイスが起動できなくなるおそれがあります。

- 1 デバイスを PC に接続してドライブ (またはボリューム) を開きます。
- 2 [GARMIN] フォルダを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 ファイルを削除します。

付録

USB ケーブルを取り外す

デバイスをドライブまたはボリュームとして接続している場合、データの破損を防ぐため、デバイスを安全に取り外す必要があります。Windows® PC にポータブルデバイスとして接続している場合、デバイスを安全に取り外す必要はありません。

1 PC の操作

- Windows® PC の場合：
タスクバーの通知領域から [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択してください。
- Apple® PC の場合：
デバイスを選択し、[ファイル] > [取り外し] を選択します。

2 PC からケーブルを外します。

電子ラベルの規制および準拠情報を表示する

本製品では、ラベルを電子的に確認できます。FCC または地域のラベル規制によって提供される識別番号などの規制情報、製品名、ソフトウェアバージョンが表示されます。

1 メインメニューから、[設定] を選択します。

2 [その他 ...] を選択します。

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、当社ウェブサイト ([Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp)) をご参照ください。

サポートセンター <https://support.garmin.com/ja-JP/>

チュートリアルビデオ <https://bit.ly/2lRYcxH>

地図データの追加

別売の Garmin 純正地図データ (microSD カード版) を追加できます。

参照 [33 ページ](#) [メモリーカードを挿入する](#)

別売アクセサリ

tempe (ワイヤレス温度センサー)

tempe とは、ANT + ワイヤレス温度センサーです。デバイスと tempe をペアリングすることで、tempe で取得した温度データをデバイスに表示することができます。tempe でデータを計測する際には、体温などの影響を受けにくくするため、センサーにストラップ等を取り付けてセンサー全体が空気にさらされるようにしてください。

ANT+ センサーをペアリングする際のヒント

- ANT+ センサーが Garmin デバイスと互換性があることを確認します。
- ペアリングを開始する前に、ANT+ センサーと互換性のある他のデバイスから 10m 以上離れてください。
- ペアリングする ANT+ センサーと Garmin デバイスを 3 m 以内に近づけてください。
- 初回のペアリング以降は、センサーが起動すると自動で Garmin デバイスに接続されます。センサーが正常に動作している場合、デバイスへの再接続は数秒で完了します。
- Garmin デバイスは、ペアリング済みのセンサーのデータのみ取得することができます。

トラブルシューティング

デバイスを再起動する

デバイスが反応しない場合、再起動の必要があります。これにより、設定やデータが消去されることはありません。

- ① **ボタン**を約 30 秒間押し続けます。電源がオフになり、デバイスが再起動します。

心拍ゾーン

トレーニングの目標と心拍ゾーン

自身のトレーニングレベルを測る際には、心拍ゾーンが計測のよい指標となります。

心拍数は、運動強度を客観的に測るための一つの物差しです。トレーニングの目標に合った適切な心拍ゾーンでトレーニングを行うことで、心肺機能の向上に役立つほか、オーバートレーニングを防いだり、けがのリスクを減らすことができます。

心拍ゾーンは最大心拍数に対する割合を基に計算され、ゾーン 1 ~ ゾーン 5 の 5 つのゾーンに分けられます。ゾーンの数字が大きいほど運動強度が高いことを示します。

以下の表では、心拍ゾーンのゾーン別の状態と効果を確認することができます。

最大心拍数は、あらかじめ 220 - (年齢) で求められた推定値が使用されていますが、より正確な最大心拍数を入力するこ

とで、アクティビティ中の消費カロリー計算の精度が高くなります。

自身の正確な最大心拍数が分からない場合は、インターネット等で計算方法をお調べください。または、ジムや専門の医療機関で最大心拍数を計測するテストを行っていることがあります。

心拍ゾーン参考表

ゾーン	% Max	状態	効果
1	50-60%	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともにリラックスしたペース リズムカルな呼吸で、会話に支障がない 	【有酸素性能力の基礎作り】 <ul style="list-style-type: none"> 有酸素性能力向上の初期レベルのトレーニング ストレスの軽減
2	60-70%	<ul style="list-style-type: none"> 快適さを感じるペース 少し呼吸が深くなるが、会話は可能 	【心肺機能の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 心肺機能向上の基本となるトレーニング 脂肪燃焼に効果的 高強度トレーニング後の休息に適したペース
3	70-80%	<ul style="list-style-type: none"> マラソンをするような標準のペース 会話を続けるのが難しくなる 	【有酸素性能力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 心肺機能向上に最適なトレーニング 持久力の向上
4	80-90%	<ul style="list-style-type: none"> ややきついペース 呼吸が力強くなり会話することができない 	【無酸素性能力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 無酸素性作業閾値の向上 スピードの向上
5	90-100%	<ul style="list-style-type: none"> 全速力の速さで、長時間維持することはできないペース 呼吸が相当きつい 	【無酸素性持久力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 瞬発力、筋持久力の向上

データ項目

GPS 方位 [GPS 方位]

GPS を基にした現在の進行方位

GPS 高度 [GPS 高度]

現在地の GPS 高度

カロリー [カロリー]*¹

現在のトリップの消費カロリー

ケイデンス [ケイデンス]*²

1 分間あたりのクランクアームの回転数

コースラインへの方位 [コース方位]

ナビゲーション中のルートから外れているとき、元のルートに戻るために進むべき方位

コース有効速度 (VMG) [コース有効速度]

目的地の方向に向かっての有効速度

コース目的地への方位 [コース目的方位]

ナビゲーションの出発地点から目的地への方位

コース逸脱距離 [オフコース]

ナビゲーション中のルートから右または左に外れている距離

コンパス方位 [コンパス方位]

コンパスを基にした現在の進行方位

ストップウォッチタイマー [ストップウォッチ]

ストップウォッチのタイム

タイマー [タイマー]

タイマー機能のタイム

トリップ (停止積算時間) [TP 停止時間]

現在のトリップの停止中の積算時間

トリップ (移動積算時間) [TP 移動時間]

現在のトリップの移動中の積算時間

トリップ (移動積算距離) [TP 積算距離]

現在のトリップの移動積算距離

トリップ (経過時間) [TP 合計時間]

現在のトリップの移動中と停止中を含めた積算時間

なし [なし]

空欄を表示

バッテリー残量 [バッテリー]

バッテリーの残量

ラップ %MAX [ラップ %MAX]

現在のラップの平均% MAX (最大心拍数に対する割合)

ラップケイデンス [ラップケイデンス]*²

現在のラップの平均ケイデンス

ラップスピード [ラップスピード]

現在のラップの平均スピード

ラップタイム [ラップタイム]

ストップウォッチの現在のラップタイム

ラップ上昇量 [ラップ上昇量]

現在のラップの垂直方向の上昇量

ラップ下降量 [ラップ下降量]

現在のラップの垂直方向の下降量

ラップ心拍数 [ラップ心拍数]*¹

現在のラップの平均心拍数

ラップ数 [ラップ数]

現在のアクティビティのラップ取得数

ラップ距離 [ラップ距離]

現在のラップの距離

位置精度 [位置精度]

GPS の位置精度
制限速度 [制限速度]
道路の制限速度 (一部地図データのみ対応)
前回ラップケイデンス [前回ラップケイデンス]*2
前回のラップの平均ケイデンス
前回ラップスピード [前回ラップスピード]
前回のラップの平均スピード
前回ラップタイム [前回ラップタイム]
ストップウォッチの前回のラップタイム
前回ラップ心拍 [前回ラップ心拍]*1
前回のラップの平均心拍数
前回ラップ総上昇量 [前ラップ総上昇量]
前回のラップの垂直方向の上昇量
前回ラップ総下降量 [前ラップ総下降量]
前回のラップの垂直方向の下降量
勾配 [勾配]
移動距離に対する上昇量の割合 (%)
大気圧 [大気圧]
校正していない現在の気圧
対地高度 [対地高度]
現在地の地表からの高度
対目的地昇降速度 [目的昇降速度]
目的地の高度に対する昇降速度 (↑上昇 / ↓下降)
対目的地滑空比 [滑空目的地]
現在地の高度から目的地の高度に対する滑空比 (下降のみ)
対経路地への角度差 [経路地角度差]
目的地への方位と現在の進行方向の角度差 (L が左 / R が右)
平均% MAX [平均% MAX]*1
現在のアクティビティの平均% MAX (最大心拍数に対する割合)
平均ケイデンス [平均ケイデンス]*2
現在のアクティビティの平均ケイデンス
平均ラップタイム [平均ラップタイム]
現在のアクティビティの全ラップの平均タイム
平均上昇量 [平均上昇量]
現在のトリップの垂直方向の平均上昇量
平均下降量 [平均下降量]
現在のトリップの垂直方向の平均下降率
平均心拍数 [平均心拍数]*1
現在のアクティビティの平均心拍数
平均速度 [平均速度]
現在のトリップの移動中と停止中を含めた平均速度
心拍 [心拍]*1
現在の心拍数
心拍 %MAX [心拍 %MAX]*1
現在の心拍% MAX (最大心拍数に対する割合)
心拍ゾーン [心拍ゾーン]*1
現在の心拍ゾーン
日の入時刻 [日の入]
現在地の日の入時刻
日の出時刻 [日の出]
現在地の日の出時刻
日付 [日付]
現在地の年月日
日出&日入 [日の出 / 日の入]

現在地の日の出時刻 / 日の入時刻
昇降速度 [昇降速度]
現在の昇降速度 (↑上昇 / ↓下降)
時刻 [時刻]
現在の時刻
最低気温 [最低気温]*3
過去 24 時間の最低気温
最低高度 [最低高度]
現在のトリップの最低高度
最大上昇量 [最大上昇量]
現在のトリップの最大上昇量
最大下降量 [最大下降量]
現在のトリップの最大下降量
最高気温 [最高気温]*3
過去 24 時間の最高気温
最高速度 [最高速度]
現在のトリップの最高速度
最高高度 [最高高度]
現在のトリップの最高高度
校正気圧 [校正気圧]
校正された現在の気圧
気温 [気温]*3
現在の気温
水温 [水温]*4
接続中の NMEAR 0183 デバイスで取得した水温
深度 [深度]*4
接続中の NMEAR 0183 デバイスで取得した水深
滑空比 [滑空比]
移動した水平距離と垂直距離の比率
目的地への所要時間 [目的地時間]
目的地へ到着するまでにかかる予想時間
目的地への方位 [目的地方位]
現在地から目的地への方位
目的地までの距離 [目的地距離]
目的地までの距離
目的地到着時刻 [目的地時刻]
目的地に到着する予想時刻
目的地名称 [目的地名称]
最終目的地の名称
目的地座標 [目的地座標]
最終目的地の座標
目的地標高差 [目的地標高差]
現在地の高度と目的地の高度の差
移動平均速度 [移動平均速]
現在のトリップの移動中の平均速度
移動速度 [速度]
現在の速度
積算距離 [積算距離]
全トリップデータの積算距離 (トリップデータをリセットしても積算距離はリセットされません。)
次の転換点 [次の転換点]
次に転換点で転換する方向 (一部詳細道路地図データのみ対応)
経路地の方位 [経路地方位]
現在地から経路地への方位

経由地への所要時間 [経由地時間]

次の経由地へ到着するまでにかかる予想時間

経由地への矢印 [方位ポインター]

次の経由地の方向を示す矢印

経由地までの距離 [経由地距離]

次の経由地までの距離

経由地到着時刻 [経由地時刻]

次の経由地に到着する予想時刻

経由地名称 [経由地名称]

次の経由地の名称

経由地標高差 [経由地標高差]

現在地の高度と経由地の高度の差

経緯度 [経緯度]

現在地の緯度経度

経過時間 [経過時間]

現在のアクティビティの移動中と停止中を含めた合計時間

総ラップタイム [総ラップタイム]

ストップウォッチの合計ラップタイム

総上昇量 [総上昇量]

現在のトリップの総上昇量

総下降量 [総下降量]

現在のトリップの総下降量

衛星受信強度 [衛星受信]

衛星信号の受信強度

設定経緯度 [設定経緯度]

位置フォーマット設定で選択したフォーマットでの現在地の位置情報

軌跡距離 [アクティビティ距離]

現在のアクティビティの距離

進行方位 [進行方位]

現在進行している方位

高度 [高度]

現在地の海拔高度

*¹ 別売の心拍計（ハートレートセンサー）が必要です。

*² 別売のケイデンスセンサーが必要です。

*³ 別売のワイヤレス温度センサーが必要です。

*⁴ 別売の水溫計測対応の NMEAR 0183 デバイスとの接続が必要です。

Garmin.co.jp

ガーミンジャパン株式会社
〒 354-0036 埼玉県富士見市ふじみ野東 1 丁目 7 番地 6
Tel 0570-049530 (ナビダイヤル)
サポートセンター support.garmin.com



February 2020
190-02336-2D Rev.A

